

# ま え が き

この年報は、御殿場市と小山町の消防業務及び消防現勢を収録し、今後の消防行政の合理的な運営と消防力の強化育成の資とするため編集しました。

編集については、資料選定、内容の改善に努めておりますが、今後も皆様のご指導を仰ぎ、さらに内容の充実を図りたいと考えております。

統計は、暦年となっておりますが、表中特に明示されたものは、その時点での現況となっております。

令和3年6月

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部

# 目 次

<b>1 管内の概要</b>	
御殿場市と小山町のすがた	4
消防本部・消防署の沿革	5
主な災害	1 1
御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織	1 6
消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長	1 7
御殿場市・小山町歴代消防団長	1 9
<b>2 総 務</b>	
御殿場市・小山町の位置・地勢	2 2
消防庁舎の現況	2 2
管内消防機関配置図	2 3
消防本部・消防署組織機構図	2 4
分掌事務	2 5
消防本部・消防署別職員配置状況	2 7
職員年齢状況	2 7
職員勤続年数状況	2 8
職員任用状況	2 8
派遣等の状況	2 8
令和3年度常備消防費当初予算（歳入・歳出）	2 9
相互応援協定等の締結状況（県内協定・県外協定・その他・消防団協定）	3 0
<b>3 予 防</b>	
[防火対象物]	
防火対象物現況数	3 2
用途構造別建築同意件数	3 3
立入検査実施状況	3 4
管内5階以上の建築物一覧	3 5
消防用設備等設置状況	3 7
火災予防条例による届出件数	3 8
枯草処置指導件数	3 8
月別煙火許可件数	3 8
[危険物]	
類別危険物施設数	3 9
数量別危険物施設数	3 9
業態別危険物施設の状況	4 0
危険物関係届出状況	4 1
危険物施設許可・完成検査件数	4 2
過去10年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移	4 2
申請手数料収入状況	4 2
[予防広報]	
広報活動の概要	4 3
高齢者の防火訪問診断実施状況	4 4
防火指導・講習・訓練実施状況	4 4
救命講習会実施状況	4 4
甲種防火管理者資格取得講習会受講者数	4 4
甲種防火管理者再講習会受講者数	4 4
[外郭団体]	
御殿場市小山町防火安全協会	4 5
御殿場小山幼年防火委員会	4 6

<b>4 警 防</b>		
消防本部・消防署配置車両	.....	4 8
救助資機材整備状況	.....	4 9
令和3年度水防費・災害対策費当初予算額	.....	5 0
消防水利現況（御殿場市・小山町）	.....	5 1
<b>5 通 信</b>		
高機能消防指令システム系統図	.....	5 4
通信系統図	.....	5 5
無線系統図	.....	5 5
デジタル無線陸上移動局・携帯局	.....	5 6
無線基地局	.....	5 7
陸上移動局（防災相互通信波）	.....	5 7
通信施設・電話	.....	5 8
火災報知専用電話・携帯電話別 1 1 9 番受付回数	.....	5 8
<b>6 火災統計</b>		
火災概要	.....	6 0
過去10年間の火災発生状況の推移	.....	6 0
市町等別火災発生状況	.....	6 1
地区別火災発生状況	.....	6 1
月別火災発生件数	.....	6 1
時間別火災発生件数	.....	6 2
覚知別火災発生件数	.....	6 2
原因別火災発生件数	.....	6 2
<b>7 救急・救助統計</b>		
月別・事故種別救急活動状況	.....	6 4
地区別・事故種別出動件数及び搬送人員	.....	6 5
地区別・傷病程度別・性別搬送人員	.....	6 5
署別・月別出動件数及び搬送人員	.....	6 6
署別・曜日別出動件数及び搬送人員	.....	6 6
曜日別・事故種別救急活動状況	.....	6 6
時間別・事故種別出動件数	.....	6 7
年齢別・性別・事故種別搬送人員	.....	6 7
傷病程度別・性別・事故種別搬送人員	.....	6 8
救急出動10年間の推移	.....	6 8
東名高速道路月別・事故種別出動件数	.....	6 9
東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員	.....	6 9
東名高速道路救急出動10年間の推移	.....	6 9
救助業務実施状況	.....	7 0
救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数	.....	7 0
時間別救助出動状況	.....	7 0
<b>8 消防団</b>		
御殿場市消防団沿革	.....	7 2
小山町消防団沿革	.....	7 3
消防団機構図（御殿場市・小山町）	.....	7 4
令和3年度非常備消防費当初歳出予算	.....	7 5
消防団員階級別年齢	.....	7 6
消防団員階級別勤続年数	.....	7 6
出動費用弁償	.....	7 7
報酬年額	.....	7 7
消防団編成及び装備	.....	7 7
消防団車両配備	.....	7 8

# 1 管内の概要



(御殿場市・小山町広域行政組合消防本部庁舎及び車両)

## 御殿場市と小山町のすがた

西に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根外輪山・北に丹沢山地に囲まれた美しい自然と緑豊かな高原に御殿場市と小山町がある。

この地に人類が住みついたのは、6～7千年前の縄文時代といわれ、遺跡からは土器や住居跡が多数発見されている。この地は度重なる富士山の噴火による、苦難な歴史の中で集落ができたと思われる。歴史に残る宝永4年の大噴火により、大量に降った砂は、富士山麓を3メートル～6メートルの深さで覆い尽くすという大災害となった。この大災害は、時の関東郡代伊奈半左衛門の活躍により復旧がなされ、その功績は大きく後の世にも語り継がれている。

鎌倉時代には、源頼朝によって巻狩が富士の裾野一帯で行われた。この巻狩に因んだ多くの伝説や地名が管内各地に残っている。

戦国時代には、交通の重要地点であったので、目まぐるしい攻防が行われた。何度か領主が変わった後、寛永10年には小田原藩に組み込まれた。宝永4年の富士山噴火以降一時期幕府領となったが、噴火から40年後に小田原藩領に復帰した。

明治維新後駿府に編入され、明治4年の廃藩置県が実施されると、駿府藩は静岡県となった。

昭和28年の町村合併促進法により、現在の御殿場市と小山町が生まれた。

昔、富士講と呼ばれた人達が富士山に登ったが、明治22年に東海道線開通で御殿場駅が設置されると、夏の登山期には、御殿場口、須走口は全国からの富士登山者で賑わった。今では御殿場口は新五合目まで車で直行し、須走口はマイカー規制によりバス・タクシー等の交通機関を利用した登山が主になっている。

管内は富士・箱根・伊豆国立公園の国際観光地の中心地にあり、東名高速道路、新東名高速道路、国道246号線、国道138号線、国道469号線、東富士五湖道路といった幹線道路が通っている。こうした交通の要所であるため交通渋滞がしばしば発生している。

地形としては、御殿場市のほぼ中央が南北の分水嶺となり、霊峰富士の雪どけ水は、それぞれ相模湾と駿河湾に注いでいる。

管内には広大な大野原といわれている大草原を有しており、古くは源頼朝の富士の巻狩に、明治後期からは旧日本陸軍の演習場として使用されていた。昭和34年に東富士演習場使用協定が結ばれ、現在、演習場は自衛隊が使用し、陸上自衛隊富士学校のほか3つの駐屯地があり自衛隊の街として知られている。同時に周辺住民の生活環境改善事業が行われている。

産業経済では、明治29年に小山町で富士紡績が創設され、その後自然環境に恵まれた御殿場市や小山町に多数の工場が進出し、研修施設、保養所等が建設された。更に、駒門工業団地、神場工業団地、富士御殿場工業団地、板妻南工業団地、富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山、富士山麓フロンティアパーク等の工業団地や研修所施設を中心とした御殿場市と小山町にまたがる東富士リサーチパークの開発も進んでいる。レジャー産業の一つであるゴルフ場も多く御殿場市に9ヶ所、小山町に11ヶ所の合計20ヶ所がある。

日本が誇る富士山、その麓に位置する御殿場市では富士山が与えてくれる豊かな自然環境に調和し、さらにこれを育むまちづくりと、雄大な富士山にふさわしい、心が大きくて思いやりのある人づくりを進め、だれもが生きがいと誇りを持って暮らすことができる、人と環境が共生するまちを将来都市像「緑きらきら、人いきいき、御殿場」として表している。小山町では「富士のふもと 人々のふれあう心豊かなふるさと・おやま」をテーマに、先人が守り育ててきた富士山をはじめとする豊かな自然や歴史を町の誇りとし、人と人、人と自然などのふれあいをおして、美しい自然を守り、快適な町民生活と特色ある文化を創造していくことを目標としている。

特産物では、富士山の雪どけ水を利用した水かけ菜は全国的に知られ、良質なわさびも栽培されている。

気候は、夏涼しく東海の軽井沢といわれ、快適な生活を過ごすことができる。

また、雨量と霧が多いことが原因で湿度が高く、山に囲まれているため天候が変わりやすく、この地方だけに雨が降ることも多い。この現象は昔から「みくりやのわたくし雨」と呼ばれている。

## 消防本部・消防署の沿革

昭和40.	4.	1	政令指定により、御殿場市萩原483番地に御殿場市消防本部・消防署を設置。御殿場市助役が消防長に就任し、職員33人（職員定数36人）指令車1台、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
	5.	1	消防職員2人採用
昭和41.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人（職員定数36人）
昭和42.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人
	10.	1	消防職員4人採用、職員数40人（職員定数40人）
	11.	1	救急自動車（救急1号車）1台を購入 救急業務開始 小山町と救急業務に関する協定を締結し、小山町の救急業務開始
昭和43.	1.	1	消防職員1人採用
	4.	1	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈される
	6.	1	消防職員1人採用
	7.	11	財団法人日本消防協会から救急自動車（救急2号車）1台が寄贈され消防署に配置
昭和44.	3.	20	東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の救急等消防業務開始
	4.	1	消防職員10人採用、職員数49人（職員定数50人）
	4.	10	消防職員1人採用、職員数50人
	4.	13	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈される
	5.	26	東名高速道路（御殿場～大井松田インターチェンジ間の上り線）の救急等消防業務開始
昭和45.	4.	1	消防職員3人採用、職員数49人
昭和46.	4.	1	小山町との厚生施設組合を改組し、新たに常備消防業務を含めて御殿場市・小山町広域行政組合を設立 消防職員3人採用、職員数50人（職員定数72人）
昭和47.	1.	1	消防職員5人採用
	2.	1	消防職員6人採用
	4.	1	消防職員10人採用、職員数71人 御殿場市役所新庁舎開庁、併せて御殿場市・小山町広域行政組合新消防庁舎開庁、消防本部・消防署の業務開始 駿東郡小山町菅沼359番地の2に御殿場市・小山町広域行政組合消防署小山分署を設置。職員18人、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台で業務開始
	4.	5	指令車1台と作業車1台を購入
	4.	21	社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署に配置
昭和48.	4.	1	消防職員4人採用、職員数71人
	7.	1	消防職員1人採用
	12.	19	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、本署に配置
昭和49.	2.	19	救助工作車1台を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員4人採用、職員数76人（職員定数76人）
	5.	30	本署救急自動車（救急1号車）1台更新
	6.	1	本署救急自動車（救急1号車・救急2号車）の名称入替変更
	9.	28	本署消防ポンプ自動車更新
	10.	1	富士岡地区の消防業務充実のために分遣所設置決定 設置されるまでの期間仮設待機所を建設、職員3人、水槽付消防ポンプ自動車を昼間のみ配置して業務開始

- 昭和50. 4. 1 消防職員6人採用、職員数82人（職員定数82人）  
 社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署  
 救急自動車（救急1号車）を更新  
 更新前本署救急自動車を（救急3号車）として配置
9. 1 水難救助機器を購入
9. 17 本署水槽付消防ポンプ自動車更新
12. 17 小山分署指令車を広報車（広報2号車）として本部に配置  
 駿河信用金庫から指令車2台が寄贈され、消防本部（更新）と小山分署に配  
 置
- 昭和51. 3. 19 消防本部広報車（広報1号車）更新
4. 1 消防音楽隊を編成
6. 21 消防水難救助隊を編成
7. 8 化学消防ポンプ自動車を購入し、本署に配置
10. 1 御殿場市中山473番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署富士岡  
 分遣所を設置。職員10人、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
- 昭和52. 4. 1 消防職員4人採用、職員数84人（職員定数86人）
- 昭和53. 1. 1 消防職員1人採用
3. 7 消防庁長官から竿頭授受賞
3. 20 救急一斉指令装置を導入、運用開始
4. 1 通信指令室及び管理課企画広報係を新設
8. 1 日本テトラパック㈱から赤バイ2台が寄贈され、本署に配置
8. 29 財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈され、小山分署救急自動車  
 を更新
9. 28 富士岡分遣所に作業車を配置  
 小山分署に作業車を配置
10. 1 本署に作業車を配置
- 昭和54. 4. 1 消防職員5人採用、職員数90人（職員定数91人）
4. 1 当直司令制度運用開始
7. 24 静岡県トラック協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急  
 2号車）を更新更新前救急自動車（救急2号車）を予備車として富士岡分遣所  
 に配置
8. 8 消防本部広報車（広報2号車）更新
10. 1 富士岡分遣所に職員2人増員  
 富士岡分遣所で救急業務開始
- 昭和55. 4. 1 消防職員13人採用、職員数102人（職員定数103人）
11. 1 小山町須走293番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署須走分遣  
 所を設置、職員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡  
 車1台で業務開始  
 各分遣所長を補佐級とする  
 富士岡分遣所の職員を1人増員  
 東海精機㈱から自記気象観測装置と消防無線機が寄贈される
12. 19 高所放水作業車を購入、本署に配置
- 昭和56. 9. 21 社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され小山  
 分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
10. 31 本署救急自動車（救急1号車）と富士岡分遣所救急自動車を更新
11. 16 小山分署消防ポンプ自動車更新
- 昭和57. 1. 1 消防職員1人採用
3. 23 社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、小山分署救急自  
 動車を更新
4. 1 消防本部・消防署組織の機構改革実施、本部は管理課（管理係・消防係・企

画広報係)・予防課(予防係・指導係・危険物係)・警防課(警防係・教養係)で構成、消防署は本署(庶務係・機械係・査察係・救急救助係・通信指令係)と、消防署小山分署、消防署富士岡分遣所、消防署須走分遣所で構成  
本署当直に当直司令制採用、補佐が当直司令に当たる

	10	19	財団法人日本防火協会から御殿場市小山町防火協会に広報車が寄贈され、消防本部広報車(広報3号車)として配置
昭和58	2	22	米軍キャンプ富士(滝ヶ原)司令官と消防相互援助協約を締結
	11	1	富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和59	1	1	消防長が専任となる
	4	1	消防職員2人採用、職員数103人(職員定数103人)
	12	21	本署消防ポンプ自動車更新
昭和60	4	1	消防職員3人採用、職員数106人(職員定数111人)
	12	9	消防本部指令車更新
	12	25	小山分署作業車更新
昭和61	1	14	本署作業車更新
	3	14	社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車(救急2号車)更新
	4	1	消防職員4人採用、職員数108人 消防本部に通信指令室を置き、管理課消防係を警防課に編入、消防署機械係を警防係に名称変更
	6	20	富士岡分遣所の作業車更新
	8	29	査察車を1台購入、予防課に配置
昭和62	3	12	米軍キャンプ富士(滝ヶ原)司令官と消防相互援助協約を変更締結
	3	30	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4	1	消防職員5人採用、職員数114人(職員定数119人) 消防本部管理課に人事係新設
	4	24	本署水槽付消防ポンプ自動車更新により不要になった水槽付消防ポンプ自動車を中国蘭州市へ寄贈
	12	1	消防職員1人採用
	12	24	本署救急自動車(救急1号車)、消防本部広報1号車更新 東名高速道路(御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線)の消防及び救急業務が裾野インターチェンジ開設に伴い御殿場～裾野インターチェンジ間の下り線に変更される
昭和63	4	1	消防職員3人採用、職員数(御市総務課付職員1人含)116人
	7	23	赤バイ2台を老朽化により廃車
	10	21	須走分遣所救急自動車更新
	11	29	東名上り線63KPで発生した車両火災(06:32)に出動中の本署水槽付消防ポンプ自動車が後続車に追突され横転大破、消防職員5人が負傷
	12	17	小山分署指令車更新
平成元	1	7	消防本部広報車(広報2号車)更新
	4	1	消防職員1人採用、職員数(御市総務課付職員1人含)116人 小山分署で小山町消防団事務開始
	6	29	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
平成2	2	14	本署救助工作車更新
	3	22	富士岡分遣所救急自動車更新
	4	1	消防職員5人採用、職員数(御市総務課付職員1人含)120人
	9	25	須走分遣所連絡車更新
平成3	3	12	本署化学消防ポンプ自動車更新
	3	15	小山分署救急自動車更新
	4	1	消防職員4人採用、職員数(御市総務課付職員1人含)120人



	9.	1 2	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され、富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 4.	2.	1 0	本署救急自動車（救急1号車）更新
	3.	1 9	小山分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員1人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）120人
	8.	3 1	新消防庁舎工事起工式
平成 5.	3.	1 5	本署救急自動車（救急2号車）更新
	3.	2 2	須走分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員2人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）122人（職員定数134人）
			完全週休2日制実施
平成 6.	4.	1	御殿場市と係長級1名の人事交流を実施
			消防職員7人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）126人
	4.	2	御殿場市東田中一丁目19番1号に消防庁舎が移転し、業務開始
			消防緊急通報指令施設（Ⅱ型）運用開始
			静岡県総合情報ネットワーク運用開始
	4.	2 2	御殿場市小山町危険物安全協会、御殿場市小山町防火協会から広報車1台寄贈され消防本部広報車（広報3号車）更新
	4.	2 8	消防庁舎落成式
	7.	2 7	消防無線救急波の運用開始
	1 1.	1 8	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を購入し、本署に配置し本署高所放水作業車廃車
平成 7.	1.	3 1	小山分署消防ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員6人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）131人
	6.	3 0	全国消防機関による緊急消防援助隊発足（東京）
	7.	3 1	化学防護服（ワークマスタープロ）3着購入
	8.	2 0	聴覚言語障害者の緊急通報システム運用開始
	8.	2 2	静岡県緊急消防援助隊の編成にかかる協議の結果、御殿場小山消防本部は、消火隊1隊を県外応援可能隊とする
	9.	5	静岡県は、緊急消防援助隊を編成し消防庁に登録 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部消火隊は、常時出動可能体制維持開始
	1 0.	1 8	震災対策用後方支援資機材（テント・シュラフ等）購入
	1 0.	1 9	特殊作業服（戦闘用防護衣一式）12着購入
	1 0.	3 0	緊急消防援助隊要綱制定 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部に部隊旗が交付
	1 1.	2 7	小山分署作業車更新
平成 8.	3.	1 1	本署消防ポンプ自動車更新
	3.	2 2	震災対策用救助資機材（油圧救助器具等）購入
	4.	1	消防職員5人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）133人（職員定数150人）
			東名高速道路上り線無線不感地帯対策として前進基地局整備
	6.	5	富士岡分遣所連絡車更新
	7.	2	震災対策用救助資機材（ファイバースコープ等）購入 災害情報収集用オートバイ2台購入
	7.	3 1	消防本部指令車更新
	8.	3 1	静岡県総合防災訓練
	9.	1	静岡県総合防災訓練
平成 9.	2.	1 3	小山分署庁舎増築工事 259.24㎡
	2.	1 8	須走分遣所救急車（2B型）更新

	4.	1	消防職員4人採用、職員数(御市総務課付職員1人含) 137人
	6.	20	西分遣所庁舎建設工事起工式
平成10.	1.	25	西分遣所応急作業車購入
	2.	12	西分遣所水槽付消防ポンプ自動車購入
	2.	23	西分遣所救急車(2B型)購入
	3.	14	西分遣所庁舎建設工事落成式
	4.	1	消防職員8人採用(内女性2人)、職員数(御市総務課付職員1人含) 144人
			西分遣所運用開始 職員15名配置
平成11.	11.	30	富士岡分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事16.71㎡
	3.	16	小山分署救助工作車購入
	4.	1	消防職員4人採用、職員数(御市総務課付職員1人含) 147人
			消防本部・消防署の組織改革により課内のスタッフ制全面移行
	8.	18	消防本部査察車更新
平成12.	12.	21	須走分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事17.57㎡
	2.	24	高規格救急自動車を購入し本署に配置、更新前の救急車を富士岡分遣所に配置し、富士岡分遣所の救急自動車を廃車
	4.	1	消防職員3人採用(内女性1人)、職員数(御市総務課付職員1人含) 149人
			社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され、本署水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成13.	3.	16	小型動力ポンプ付水槽車を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員6人採用、職員数(御市総務課付職員1人含) 150人
	12.	14	小山分署指令車更新
	12.	15	小山分署耐震補強工事完了
	12.	21	本部広報1号車更新
平成14.	4.	1	消防職員3人採用、職員数(御市総務課付職員1人含) 150人
			消防機構を見直し、小山分署を小山消防署とし、富士岡分遣所を富士岡分署とし、須走分遣所を須走分署とし、西分遣所を西分署とする
	9.	4	須走分署作業車更新
平成15.	11.	19	消防本部広報2号車更新
	2.	26	小山消防署救急車更新(高規格救急車)
	4.	1	消防職員3人採用、職員数(御市総務課付職員1人含) 148人御殿場市役所派遣1人
平成16.	3.	10	御殿場消防署富士岡分署救急車更新(高規格救急車)
	4.	1	消防職員5人採用、職員数148人(御殿場市役所派遣1人)
平成17.	2.	7	御殿場消防署救助工作車更新(Ⅱ型四駆)
	4.	1	消防職員2人採用、職員数147人(御殿場市役所派遣1人)
	12.	20	御殿場ライオンズクラブから火災予防広報車が寄贈され、消防本部連絡車を更新
平成18.	2.	16	御殿場消防署西分署救急車更新(高規格救急車)
	3.	15	小山消防署訓練塔建設 A・B塔 建築面積61.6㎡
	4.	1	消防職員7人採用、職員数147人(静岡県消防学校派遣1人)
平成19.	2.	16	御殿場消防署富士岡分署水槽付ポンプ自動車更新
	3.	9	小山消防署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員5名採用、職員数149人(静岡県消防学校派遣1人)
平成20.	3.	13	小山消防署須走分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員3人採用、職員数148人(御殿場市役所派遣1人)(職員定数155人)
			須走彰徳山林会からAED及びAED講習会用資器材一式が寄贈される

平成21.	1 1.	1 1	御殿場市小山町防火安全協会から防火指導車が寄贈される
	4.	1	消防職員4人採用、職員数150人（御殿場市役所派遣1人）
平成22.	1 2.	1 1	小山消防署作業車更新
	3.	1 6	消防緊急通信指令施設Ⅱ型更新
	4.	1	消防職員5人採用、職員数152人（御殿場市役所派遣1人）
	1 0.	2 2	小山消防署須走分署救急車更新（高規格救急車）
	1 1.	1 5	全国共済農業協同組合連合会静岡県本部及び御殿場農業協同組合から救急車が寄贈され、御殿場消防署救急1号車を更新（高規格救急車）
平成23.	2.	2 4	御殿場消防署化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新
	4.	1	消防職員4人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣1人）
平成24.	2.	8	御殿場消防署救急車更新（高規格救急車）
	3.	1	静岡県防災ヘリコプター航空隊派遣1名
	4.	1	消防職員4人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣1人）
	7.	3 0	消防本部査察車更新
平成25.	2.	2 2	小山消防署救急車更新（高規格救急車）
	2.	2 7	総務省消防庁から後方支援車が貸与された
	4.	1	消防職員5人採用、職員数155人（御殿場市役所派遣2人）
平成26.	2.	2 1	小山消防署消防ポンプ自動車 更新
	2.	2 5	御殿場消防署富士岡分署救急車 更新（高規格救急車）
	3.	4	土屋昌美様から軽貨物自動車が寄贈され、御殿場消防署富士岡分署作業車を更新（ダイハツ軽トラック1台）また、救急資機材も寄贈された（エアウエイスコープ2台）
	3.	3 1	団塊の世代 消防職員10人が退職する
	4.	1	消防職員5人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣1人）
平成27.	2.	1 8	御殿場消防署消防ポンプ車更新
	4.	1	消防職員6人採用、職員数151人（御殿場市役所派遣2人）
	1 2.	1 5	消防デジタル無線運用開始
平成28.	4.	1	消防職員6人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣2人）
	1 1.	1 6	消防本部指令車更新
平成29.	2.	2 0	御殿場消防署西分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員6人採用（内女性1人）、職員数153人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人）（職員定数160人）
平成30.	2.	7	小山消防署救助工作車更新
	2.	1 5	御殿場消防署指揮車更新
	4.	1	消防職員8人採用、職員数152人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人）
	6.	1 5	小山消防署須走分署作業車更新
平成31.	1.	1 7	消防本部予防課広報車更新
	1.	3 0	御殿場消防署西分署救急車更新
	4.	1	消防職員4人採用、職員数153人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、県消防学校派遣1人）
令和 2.	1.	2 8	御殿場消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	2.	6	御殿場消防署作業車を更新し、資機材搬送車を整備
	4.	1	消防職員8人採用、職員数159人（再任用職員1人、御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、県消防学校派遣1人）
令和 3.	1.	2 8	御殿場消防署救急車更新
	4.	1	消防職員3人採用、職員数161人（再任用職員1人、御殿場市役所派遣1人、広域行政組合事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、県消防学校派遣1人）（職員定数182人）

## 主な災害

- 昭和41. 3. 5 富士山麓太郎坊原野に英国海外航空（BOAC）ボーイング707型機が墜落し乗員乗客124人全員死亡
9. 24～25 台風24号と26号が日本列島を縦断する 御殿場市の被害は負傷者2人、住家全壊6戸、半壊382戸、床下浸水多数、罹災世帯2,231世帯、罹災者11,155人、被害総額6億9,109万円  
御殿場市に初めて「災害救助法」適用  
小山町では家屋の倒壊15戸、床下浸水17戸、田畑の流出・埋没33ヶ所、被害総額は3,062万円
- 昭和43. 1. 10 御殿場市新橋（御殿場駅前繁華街）から出火 重軽症者8人、焼損棟数18棟、焼失面積1,106㎡、損害額8,006万円
- 昭和45. 11. 2 御殿場市川島田の中学校から出火 焼失面積560㎡、損害額1,435万円
- 昭和46. 9. 22 御殿場市東田中の給油取扱所から出火 死者1人、重軽傷者3人、焼失面積207㎡、損害額821万円
11. 1 御殿場市駒門（自衛隊前飲食店街）から出火 死者1人、焼損棟数6棟、焼失面積623㎡、損害額3,017万円
- 昭和47. 2. 1 東名高速道路下り線94.5KPで、車両37台の多重追突事故により出火 死者2人、重軽傷者31人、焼損車両7台、損害額5,500万円
3. 20 富士山新2合目付近の雪崩遭難事故により、死者24人、延べ出動人員約4,000人、現場稼働車両等65台
7. 12 静岡県東部に集中豪雨 御殿場市では床上・床下浸水138世帯、田畑の流出冠水等672ha、被害総額2億5,393万円  
小山町では死者2人、災害出動中の消防団員1人が行方不明、負傷者8人、住家全壊29戸、流失4棟、非住家全半壊18戸、床上浸水210戸、罹災世帯250世帯 罹災者数1,713人、被害総額23億306万円
- 昭和48. 11. 23 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火 死者1人、負傷者4人、レーシングカー全焼4台 損害額2億3,679万円
- 昭和49. 6. 2 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火 死者2人、負傷者5人、レーシングカー4台全焼、レーシングカー3台部分焼、損害額4,328万円
- 昭和50. 12. 4 御殿場市大坂の工場（スチール家具製造）から出火 焼失面積1,440㎡、損害額1億2,500万円
12. 12 御殿場市大坂の工場（シール製造）から出火 機械等を焼失、焼失面積320㎡、損害額3,000万円
- 昭和53. 1. 1 御殿場市中清水の神社より出火 焼失面積79㎡、損害額1,900万円
3. 25 御殿場市新橋（新天地OK横丁）から出火 15店舗及び1旅館が焼失、焼失面積777㎡、損害額4,500万円
- 昭和54. 2. 18 御殿場市新橋（御殿場駅前味一番街）から出火。7店舗焼失、焼失面積316㎡、損害額1,604万円
10. 19 台風20号による御殿場市の被害は、住宅全壊10戸、半壊4戸、流失1戸 床上浸水42戸、床下浸水810戸で、総雨量300mm、損害額23億394万円  
この豪雨で米軍キャンプ富士敷地内のガソリン貯蔵袋が破損し、大量のガソリンが立ち並ぶ兵舎内に流入し、ストーブの火により出火、隣接する建物に次々に引火し、死傷者約50人、焼損棟数全焼14棟、半焼1棟、部分焼3棟、延焼失面積1,385㎡、損害額2,982万円  
小山町の被害は、死者1人、住家全壊5戸、半壊2戸、一部破損3戸、非住

			家全壊4戸、半壊3戸、流失3戸、一部破損1戸、床上浸水33戸、床下浸水129戸、損害総額27億4,823万円、総雨量237mm
	12.	15	御殿場市新橋（駅前中野交差点付近商店街）から出火 焼失5店舗、焼失面積1,342㎡、損害額1億7,000万円
昭和55.	7.	24	小山町小山の工場（紡績）で落雷により出火 焼失面積135㎡、損害額3,378万円
昭和56.	9.	5	陸上自衛隊のヘリコプターが御殿場市中畑地先の演習場内に墜落2人死亡
昭和57.	6.	8	神奈川県大井町へ行方不明者捜索出動 他57年中に5件の行方不明者の捜索出動
	8.	1	台風10号による御殿場市の被害は、住家半壊5戸、一部破損1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸、損害総額18億530万円、総雨量555mm 小山町の被害は住家全壊2戸、住家半壊3戸、一部破損35戸、床上浸水7戸、床下浸水84戸、損害総額36億9,850万円、総雨量457mm
昭和58.	3.	11	小山町茅沼の公民館から出火 焼損棟数1棟、焼失面積106㎡、損害額1,152万円
	8.	8	神奈川県西部を震源に、M5.8、震度5程度の地震が発生 御殿場市では家屋及び石垣等の被害4ヶ所 小山町では軽傷者1人、家屋道路、橋梁、河川、農業施設、農地、文教公共施設、水道、電気通信、企業等157ヶ所の被害、被害総額4億4,775万円
昭和59.	9.	28	御殿場市茱萸沢の工場で100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損棟数3棟、焼失面積362㎡、ライター164万個焼失、損害額5,512万円
昭和60.	5.	5	御殿場市茱萸沢の工場から出火 焼損棟数1棟、焼失面積427㎡、ライター216万個焼失、損害額9,031万円
	12.	13	御殿場市保土沢の工場（車両座席シート製造）から出火 焼損棟数1棟、焼失面積189㎡、損害額2,836万円
昭和61.	3.	8	小山町須走でトラックの積載品が荷くずれ落下し、積載品100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損車両1台、ライター15万6千個を焼失、損害額486万円
昭和63.	10.	25	小山町須走の東富士五湖道路籠坂トンネル工事現場で、時限発火装置により出火、工事車両3台が焼失、損害額268万円
	10.	28	御殿場市沼田の集会場から出火 焼失面積84㎡、損害額1,065万円
	11.	4	御殿場茱萸沢でトラックが荷くずれを起こし、積載品の100円ガスライターからの漏洩したガスにより出火 焼損車両1台、ガスライター13万6千個を焼失、損害額343万円
平成 3.	6.	22	御殿場市川島田の作業所（車庫）で不発弾の爆発事故 この事故に伴い出火 死者2人、現場付近にいた主婦等3名が負傷、焼損棟数全焼1棟、付近の民家14戸の窓ガラスが割れる被害、焼失面積199㎡、損害額2,132万円
平成 7.	4.	20	金時山頂で急病人 救助隊が出動、救出活動（救出1名）
	6.	1	金時山頂付近で中学生滑落事故 救助隊が出動、県警・防災ヘリコプターと連携し救出（救出1名）
	8.	10	東名高速道路上り線64.9KPで発生した交通事故で、大型観光バスが大破 バスの乗員乗客43人（死者3人、重軽症者40人）を足柄上消防、神奈川県警高速隊、道路公団と連携し救出（使用車両20台、人員45人）
平成 8.	3.	6	東京電力（株）新富士変電所で地震動により変圧器から絶縁油が漏れアークにより出火、損害額2,200万円
平成11.	11.	15	御殿場市萩原地先で建設中の木造3階建て教場及び共同住宅から出火、焼損棟数1、焼損面積1,950㎡、車両16台焼失、損害額6億413万円
平成12.	12.	16	御殿場市神山地先から出火、鉄骨造平屋2棟を焼失、焼損棟数2棟焼損面積356.4㎡、車両1台、損害額3,075万円

- 1 2. 3 0 小山町小山地先の店舗併用住宅から出火、焼損建物店舗併用住宅3棟、物置2棟を焼失、焼損面積440.94㎡、損害額2,472万円
- 平成13. 7. 24 鉄砲水の久保川で富士岡中学校生徒1名が行方不明、消防団、消防署、県防災ヘリコプターが出動、捜索（捜索人員延べ530人）
7. 25 水難救助隊により、水死者1名を発見収容
- 平成14. 3. 1 平成13年9月11日、米国の同時多発テロ事件に伴い、総務省消防庁より生物・化学テロ対応資機材として陽圧式化学防護服5着、生物剤検知紙1式、有毒ガス検知管1式、化学剤検知紙1式、化学剤検知管1式、除染シャワー1式、中和剤散布器2器、防毒マスク18式を貸与
- 平成15. 5. 3 御殿場市中畑で不発弾爆発事故 死者1名
- 平成16. 1. 14 国道246号線、萩原北交差点付近にて大型貨物自動車8台による多重追突事故 救助工作車2台、ポンプ隊（水槽付消防ポンプ車）2隊、救急隊5隊、隊員25人が出動し、4名の要救助者を救出
10. 21 御殿場市深沢地先、のんと橋、台風23号の影響で男性1名が水死 救助工作車1台、消防ポンプ自動車1台、指令車1台、資機材搬送車1台、救急車1台、隊員24人が出動
12. 5 台風27号の影響で御殿場市塚原地先にて家屋が倒壊、負傷者3名、救急隊1隊3人が出動  
平成16年の台風上陸個数は、気象庁の統計開始以来の記録（6個）を大きく更新し10個を記録
- 平成17. 8. 15 富士山御殿場口、大石茶屋付近にてパラグライダーが墜落。指揮車1台救急車1台、山岳救助班2隊が出動
9. 13 国道138号線、仁杉バス停付近にて自衛隊トレーラーによる多重追突事故救助工作車1台、化学車1台、救急車5台が出動し負傷者12名を搬送
- 平成18. 4. 2 東名高速道路下り線91.1KP付近にて9台が関連した多重事故 救助工作車2台、消防ポンプ自動車2台、救急車4台、他に裾野市消防本部救助工作車1台、救急車1台、長泉町消防本部救急車1台、三島市消防本部救急車1台、沼津市消防本部救急車1台の応援出動により、負傷者13名（要救助者7名）を搬送
- 平成19. 9. 6 台風9号による御殿場市の被害は床上浸水13戸、床下浸水31戸、特に富士岡地区は黄瀬川の氾濫により、甚大なる被害を受ける被害総額3億4千万円 総雨量631mm 小山町は鮎沢川の氾濫により、生土地区の護岸の破壊をはじめ、各所で甚大なる被害となる 被害総額3億8千4百万円 総雨量338mm
- 平成20. 6. 11 御殿場市新橋地先の商店街から出火、全焼1棟、部分焼3棟、焼損面積325㎡、損害額6,765万円
12. 6 金時山乙女側登山道山頂付近で急病人、箱根町消防、御殿場消防が出動、県防災ヘリコプターと連携し、1名を救出
- 平成21. 11. 1 富士スピードウェイ内ドリフトコース駐車場で卓上コンロ爆発事故、6名が負傷。指揮車1台、消防車2台、救助工作車1台、救急車3台、ドクターヘリ3機(東部・西部・東海大)出動
11. 16 須走オートパラダイス付近で観光バスと乗用車の正面衝突事故、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台出動
- 平成22. 9. 8 小山消防署管内風水害災害、台風9号の影響で野沢川の氾濫により、小山地区下野沢橋が決壊し、藤曲地区の六合橋付近の護岸の破壊及び須川の氾濫により養魚場が破壊された。また柳島地区の町道足柄三保線が決壊するなど各所で甚大なる被害となる  
なお、この災害による小山町の被害は、住宅全壊6件、大規模半壊7件、半壊18件、床上浸水14件、その他全壊8件、その他大規模半壊2件、その他半壊6件、その他床上11件、床下浸水94件、その他床下13件土砂崩れ9

2件、水路被害32件、護岸決壊14件、道路崩落29件、河川被害12件、倒木6件、土嚢要請24件、通行止め21箇所、断水なし、停電なし

時間雨量最大 97.0mm 総雨量367.0mm (小山消防署)

時間雨量最大127.5mm 総雨量593.5mm (小山消防署須走分署)

平成23. 8. 21 東名高速道路上り線65.2K Pでワゴン車の単独横転事故が発生し、1名死亡、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台、隊員23名が出動し負傷者9名を搬送

9. 21 台風15号(浜松市上陸)の影響で市町内各地において、風水害の被害が発生した。特に御殿場市では、最大瞬間風速45.9m/sを記録し、家屋の一部破損10棟、倒木などの風による被害が目立ち、負傷者も3名発生した 停電(御殿場市8区 小山町3区)

時間雨量最大54.5mm 総雨量363mm (御殿場消防署西分署)

時間雨量最大63.5mm 総雨量484mm (小山消防署須走分署)

平成26. 2. 14 低気圧接近に伴い大雪警報発令10:53 市町内各地において、大雪による被害が発生した。

小山町では小山消防署管内の積雪量が61cm 須走分署管内の積雪量は100cmで須走東災害対策センターに現地災害対策本部が設置され、小山町長から県知事へ自衛隊災害要請をする。

御殿場市では御殿場消防署管内の積雪量が85cm 富士岡分署管内の積雪量が55cm 西分署管内の積雪量が59cmで御殿場市災害対策本部が設置された。

#### 道路の状況

道路名	通行止め区間	開始日時	解除日時
東名高速道路	上り(東京IC~清水IC)	15日02:45	15日02:45
	下り(東京IC~沼津IC)	16日13:30	15日02:45
新東名高速道路	上下(御殿場IC~長泉沼津IC)	14日09:00	17日17:10
東富士五湖道路	上下(須走IC~富士吉田IC)	14日12:20	20日00:00
国道246号線	通行止めなし。ただし、片側1車線のみ通行可の時間帯があった。		
国道138号線	深沢東~県境(乙女峠、静岡県管 理) 山中湖村平野~小山町須走	15日00:00	20日15:00
		15日01:15	18日21:00

#### 公共交通機関の状況

JR御殿場線	17日 始発から通常運行
富士急行バス(路線バス)	22日 上野線(24日再開)を除き 運行再開
タクシー会社	17日 営業再開

平成27. 11. 27 JR御殿場駅周辺市街地である御殿場市茱萸沢地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積80㎡、損害額476万円、死者1名

平成28. 5. 26 小山町中日向地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積196㎡、損害額381万円、死者1名

平成29. 2. 11 御殿場市中丸地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積164㎡、損害額2,136万円、死者1名

令和 元. 6. 29 小山町棚頭地先の工場(製材)から出火、全焼1棟、焼損面積43㎡、損害額1,037万円

10. 2 御殿場市御殿場地先の学校から出火、収容物のみ焼損、損害額18万円、負傷者5名

10. 12 台風19号の影響で管内各地において、風水害が発生した。

御殿場市では、中清水地先で増水した用水路付近で作業していた男性2人が流され、うち1名は消防隊により救助されたが、もう1名が行方不明となり、地域住民、消防団、消防署、警察、自衛隊、海上保安庁、消防防災ヘリコプタ

一等、延べ290人が9日間捜索に当たるほか、土砂崩れ4件、住宅被害13件、その他にも倒木、道路の冠水などの被害が発生

小山町では、小山地先の社会福祉施設に大量の土砂が流入し、自衛隊消防、消防団、ボランティアなど約200人が土砂の撤去に当たる。また、鮎沢川の護岸が崩れ、県営住宅の真横まで河川が迫るほか、土砂崩れ35件、家屋損壊・浸水14件、道路損壊25件、護岸崩落4件発生

時間雨量最大44.5mm 総雨量557mm (御殿場消防署)

時間雨量最大41.0mm 総雨量503mm (御殿場消防署富士岡分署)

時間雨量最大77.0mm 総雨量647mm (小山消防署)

10. 20 行方不明であった1名が沼津市内の海岸において水死者として発見される。
12. 5 御殿場市仁杉地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積213㎡、損害額3,298万円、負傷者2名
- 令和 2. 1. 11 御殿場市新橋地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積198㎡、損害額543万円、負傷者1名 (Drヘリで搬送)
2. 24 小山町吉久保バス停付近で路線バスと従業員送迎バスの追突事故、6名が負傷し、指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車3台出動
7. 4 小山町上野地先の木質バイオマス発電所から出火、半焼1棟、焼損面積53㎡、損害額1,942万円
- 令和 3. 3. 27 御殿場市二子地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積84㎡、損害額1,550万円、負傷者1名 (Drヘリで搬送)



## 御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織

組織する地方公共団体 御殿場市及び小山町

### 沿 革

昭和41年	4月	1日	御殿場市・小山町厚生施設組合発足 塵芥処理場、隔離病舎及び火葬場の管理運営に関する事務を共同 処理開始する。
昭和46年	4月	1日	御殿場市・小山町厚生施設組合を改組し、新たに消防業務を加え、 御殿場市・小山町広域行政組合を設立
昭和48年	7月	5日	隔離病舎を廃止
昭和51年	4月	1日	し尿処理業務を加える。 (1) 消防に関する事項 (消防団に係るもの並びに水利施設の設置維持及び管理に 関するものを除く) (2) 火葬場に関する事項 (3) 塵芥焼却場に関する事項 (4) し尿処理に関する事項
平成10年	4月	1日	塵芥焼却場を廃止し、固形燃料化施設（RDFセンター）を設置 する。
平成24年	4月	1日	斎場における火葬等業務を民間業者に委託する。
平成27年	4月	1日	固形燃料化施設を廃止し、焼却センターを設置する。
平成29年10月	1日		再資源化センターを設置する。

### 組織の状況

#### (1) 執行機関

管 理 者	1人	御殿場市・小山町の長の互選による。 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
副 管 理 者	2人	御殿場市・小山町の長のうち管理者とならない者 御殿場市・小山町の副市町長のうちから選出 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
会計管理者	1人	管理者の属する市町の会計管理者
監 査 委 員	2人	知識経験者、議会選出 任期 2年

#### (2) 広域議会

定 数	12人	御殿場市・小山町の議会において市町の議会の議員のうちか ら選挙する 御殿場市 7人 小山町 5人
定 例 会	毎年2回	3月及び9月

## 消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長

### 市 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	2月	6日	勝	又	藤	男
昭和44年	2月	7日	～	昭和46年	3月	31日	鈴	木	勝	巳

### 管 理 者

昭和46年	4月	1日	～	昭和56年	2月	6日	鈴	木	勝	巳	(御殿場市長)
昭和56年	2月	7日	～	平成5年	2月	6日	大	庭	健	三	(御殿場市長)
平成5年	2月	7日	～	平成13年	2月	6日	内	海	重	忠	(御殿場市長)
平成13年	2月	7日	～	平成21年	2月	6日	長	田	開	蔵	(御殿場市長)
平成21年	2月	7日	～	現			若	林	洋	平	(御殿場市長)

### 消 防 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	3月	31日	木	村	賢	(御殿場市助役)		
昭和44年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	子	上	孝	吉	(御殿場市助役)	
昭和52年	4月	1日	～	昭和52年1	2月	11日	鈴	木	勝	巳	(御殿場市長)	
昭和52年1	2月	12日	～	昭和57年	3月	31日	江	藤	泰	勝	(御殿場市総務部長)	
昭和57年	4月	1日	～	昭和58年	3月	31日	後	藤	尚	平	(御殿場市総務部長)	
昭和58年	4月	1日	～	昭和58年1	2月	31日	関	口	達	夫	(消防長事務代理)	
昭和59年	1月	1日	～	昭和63年	3月	31日	関	口	達	夫		
昭和63年	4月	1日	～	平成4年	3月	31日	田	代	哲	朗		
平成4年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	羽	田	督			
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	勝	間	田	喜	代	弘
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	長	田	勇			
平成12年	4月	1日	～	平成15年	3月	31日	長	田	洋	一		
平成15年	4月	1日	～	平成18年	3月	31日	勝	間	田	嘉	雄	
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月	31日	平	野	昭	弘		
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月	31日	鈴	木	平	作	一	
平成23年	4月	1日	～	平成26年	3月	31日	長	田	利	一		
平成26年	4月	1日	～	平成28年	3月	31日	渡	邊	秀	晃		
平成28年	4月	1日	～	平成30年	3月	31日	田	代	佳	丸		
平成30年	4月	1日	～	令和2年	3月	31日	村	松	秀	樹		
令和2年	4月	1日	～	現			勝	間	田	誠	司	

### 消 防 署 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和45年	3月	31日	鳥	居	恭	男
昭和45年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	勝	亦	豊	
昭和52年	4月	1日	～	昭和56年1	2月	31日	芹	沢	勇	一
昭和57年	1月	1日	～	昭和59年	3月	31日	田	代	哲	朗
昭和59年	4月	1日	～	昭和61年	3月	31日	勝	亦	延	夫
昭和61年	4月	1日	～	平成1年	3月	31日	鈴	木	幸	助
平成1年	4月	1日	～	平成3年	3月	31日	三	井	一	郎
平成3年	4月	1日	～	平成6年	3月	31日	増	田	眞	助
平成6年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	長	田	勇	
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	長	井	傳	嘉
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	鈴	木	喜	久
平成12年	4月	1日	～	平成14年	3月	31日	勝	又	昭	雄

## 御殿場消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	齊藤伊三男
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	平田敏雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	芹澤民雄
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	勝又敏美
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	芹沢裕司
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	田邊修
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	梶本雅彦
平成27年	4月	1日	～	平成28年	3月31日	田代公一
平成28年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	村上武
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	勝間田淳欣
平成30年	4月	1日	～	平成31年	3月31日	岩田誠
平成31年	4月	1日	～	現	在	谷中修

## 小山消防署長

平成14年	4月	1日	～	平成15年	3月31日	勝間田嘉雄
平成15年	4月	1日	～	平成17年	3月31日	平田敏雄
平成17年	4月	1日	～	平成18年	3月31日	山口富雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月31日	勝又敏美
平成19年	4月	1日	～	平成22年	3月31日	込山久美
平成22年	4月	1日	～	平成23年	3月31日	長田利一
平成23年	4月	1日	～	平成24年	3月31日	田邊修
平成24年	4月	1日	～	平成26年	3月31日	芹澤栄
平成26年	4月	1日	～	平成27年	3月31日	勝間田健一郎
平成27年	4月	1日	～	平成29年	3月31日	山本孝信
平成29年	4月	1日	～	平成30年	3月31日	佐藤清
平成30年	4月	1日	～	現	在	込山眞治

## 御殿場市・小山町歴代消防団長

### 御殿場市

(昭和30年以降)

昭和30年	2月11日	～	昭和40年	3月31日	江藤	栄
昭和40年	4月1日	～	昭和53年	3月31日	今坂	勝利
昭和53年	4月1日	～	昭和60年	3月31日	勝亦	茂樹
昭和60年	4月1日	～	平成1年	3月31日	土屋	勝
平成1年	4月1日	～	平成5年	3月31日	野木	国員夫
平成5年	4月1日	～	平成7年	3月31日	穂坂	昭夫
平成7年	4月1日	～	平成13年	3月31日	長田	良一
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	勝俣	清一
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	高田	知
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	勝間田	千弘
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	勝亦	修治
平成29年	4月1日	～	令和2年	3月31日	大胡田	明寿
令和2年	4月1日	～	現	在	勝又	充夫

### 小山町

(昭和31年10月以降)

昭和31年10月	1日	～	昭和36年	3月31日	山崎	賢三
昭和36年	4月1日	～	昭和42年	3月31日	清水	亥之助
昭和42年	4月1日	～	昭和47年	3月31日	安田	鎌一
昭和47年	4月1日	～	昭和55年	3月31日	中川	保
昭和55年	4月1日	～	昭和57年	3月31日	音淵	佐一
昭和57年	4月1日	～	昭和59年	3月31日	湯山	保
昭和59年	4月1日	～	昭和63年	3月31日	鈴木	敏一
昭和63年	4月1日	～	平成3年	3月31日	秋田	信嘉
平成3年	4月1日	～	平成7年	3月31日	勝俣	昭
平成7年	4月1日	～	平成10年	3月31日	米山	坦
平成10年	4月1日	～	平成13年	3月31日	杉山	靖堅
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	山田	公一
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	田代	通之
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	横山	政行
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	小野	正敏
平成29年	4月1日	～	平成31年	3月31日	山橋	弘幸
平成31年	4月1日	～	現	在	米山	恒久



## 2 総務

令和3年度の常備消防費当初予算は、1,607,806千円です。前年度対比額170,479千円の増となりました。

消防職員定数は条例改正により令和3年4月1日から182名となりました。職員数は161名（派遣者・出向者含む）となっております。

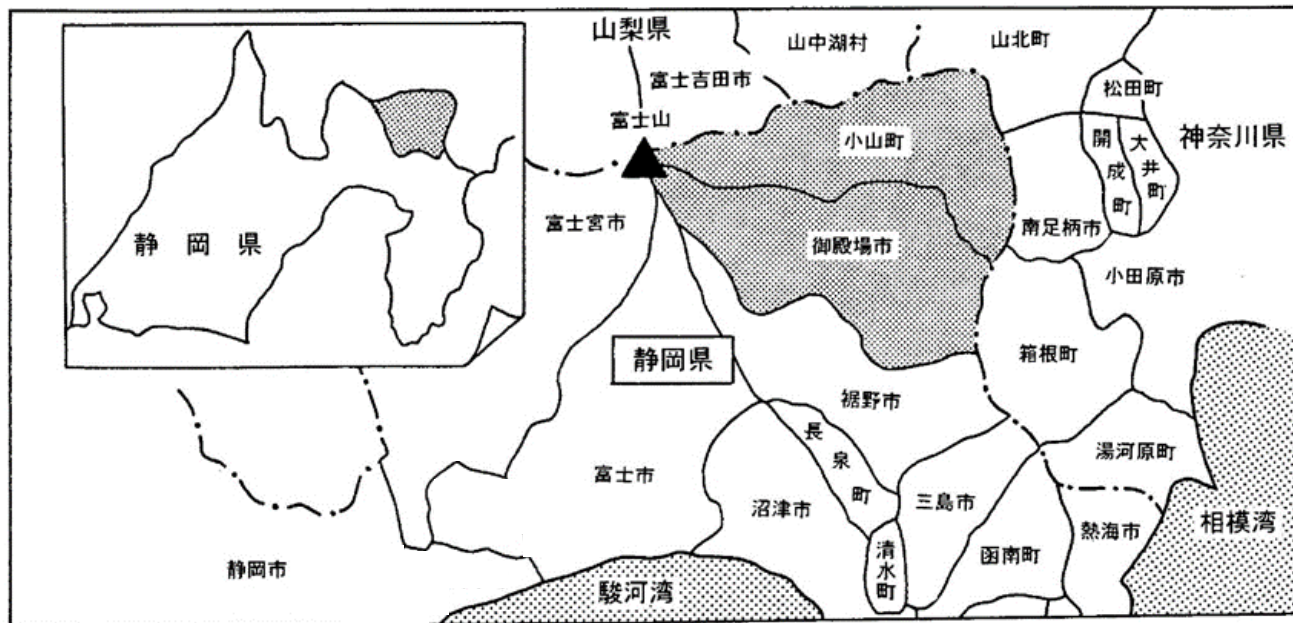
令和3年度の主要事業は、新東名高速道路の延長に伴う管轄区域拡大及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に対応するための労務管理と採用職員募集計画の見直しを検討します。

また、救急業務の高度化、職員教育の実践、職員の健康管理の推進と働きやすい職場環境の整備、情報公開及び情報管理等、住民生活の「安全と安心」に向けて、消防がその使命を十分に果たすことができるよう、消防防災体制の充実と向上及び資機材の整備を図っていくことに努めます。



(消防長点検)

## 御殿場市・小山町の位置・地勢



令和3年4月1日現在

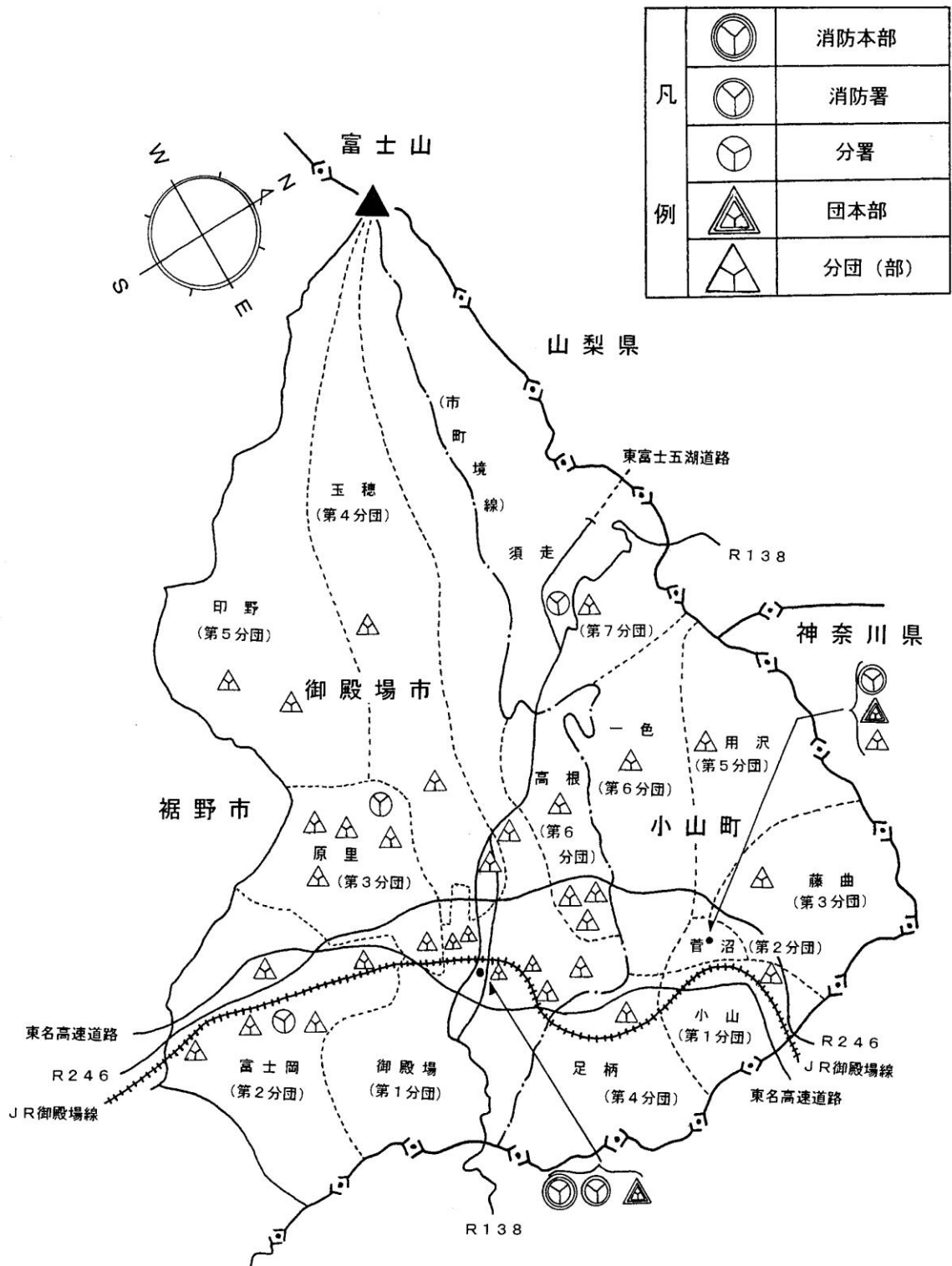
区分	全体	御殿場市	小山町
人口	105,021 人	87,054 人	17,967 人
世帯	45,461 世帯	37,915 世帯	7,546 世帯
面積	330.64 Km <sup>2</sup>	194.90 Km <sup>2</sup>	135.74 Km <sup>2</sup>
東経		御殿場市役所の位置 138° 56' 06"	小山町役場の位置 138° 59'
北緯		" 35° 18' 31"	" 35° 21'
海拔		" 459.8 m	" 267 m
広ぼう		東西24 km ・ 南北16 km	東西26 km ・ 南北13 km

## 消防庁舎の現況

令和3年4月1日現在

名称 区分	消防本部・御殿場消防署 御殿場市消防団本部	御殿場消防署 富士岡分署	御殿場消防署 西分署	小山消防署 小山町消防団本部	小山消防署 須走分署
所在地	御殿場市東田中一丁目19-1	御殿場市中山473-1	御殿場市永塚916	小山町菅沼359-2	小山町須走293-1
竣工	平成6年3月17日	昭和51年9月25日	平成10年3月14日	昭和47年3月20日	昭和55年10月20日
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造平屋建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄骨造平屋建
1階	1,661.03m <sup>2</sup>	194.02m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	382.10m <sup>2</sup>	207.70m <sup>2</sup>
2階	852.12m <sup>2</sup>	-	-	277.20m <sup>2</sup>	-
3階	601.71m <sup>2</sup>	-	-	-	-
P H	28.05m <sup>2</sup>	-	-	-	-
延面積	3,142.91m <sup>2</sup>	194.02m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	659.30m <sup>2</sup>	207.70m <sup>2</sup>
建築面積	1,948.22m <sup>2</sup>	208.55m <sup>2</sup>	409.78m <sup>2</sup>	382.10m <sup>2</sup>	225.02m <sup>2</sup>
訓練塔	鉄筋コンクリート造4階建 延面積 202.8m <sup>2</sup>	-	-	鉄骨造3階建 延面積 166.8m <sup>2</sup>	-
敷地面積	7002.01m <sup>2</sup>	715.25m <sup>2</sup>	2,000.21m <sup>2</sup>	1,200.00m <sup>2</sup>	709.38m <sup>2</sup>
工事費	1,576,000千円	23,415千円	148,000千円	56,623千円	27,420千円
増築等	H22.3 高機能消防指令システム 257,040千円 H27.12 消防救急デジタル無線システム 345,600千円	H10.11 耐震補強・増築 16.71m <sup>2</sup> 8,249千円	-	H9.2 増築 259.18m <sup>2</sup> 33,236千円 H13.12 耐震補強改修 17,788千円 H18.3 訓練塔建設 30,461千円	H11.12 増築 17.57m <sup>2</sup> 7,390千円

# 管内消防機関配置図

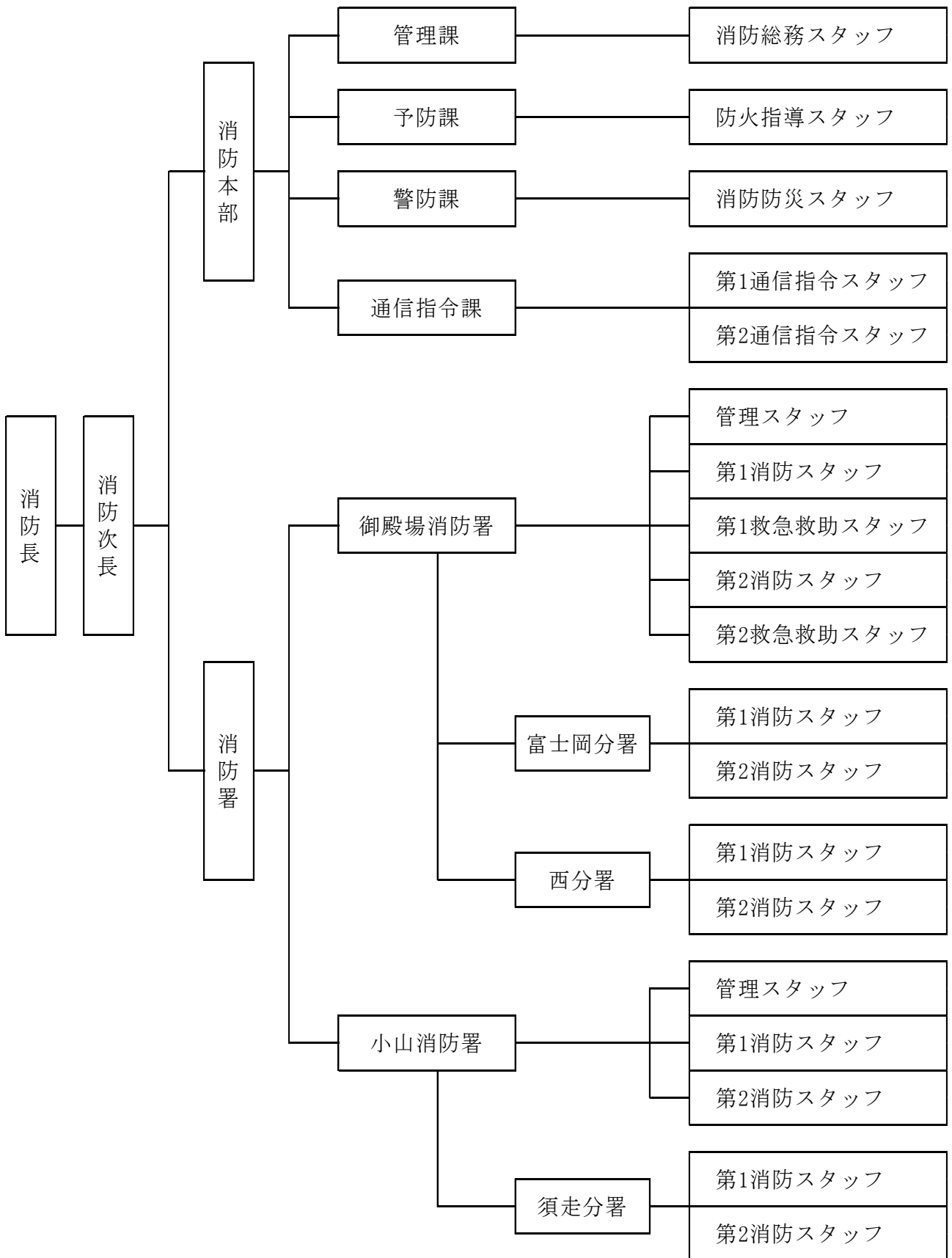


凡		消防本部
		消防署
		分署
例		団本部
		分団 (部)



# 消防本部・消防署組織機構図

令和3年4月1日現在



## 分掌事務

令和3年4月1日現在

### 管 理 課

- (1) 組織及び企画に関すること。
- (2) 儀式及び表彰に関すること。
- (3) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (4) 公印の保管に関すること。
- (5) 文書管理に関すること。
- (6) 公文書公開に関すること。
- (7) 公文書公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (8) 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- (9) 職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。
- (10) 職員の研修に関すること。
- (11) 職員の保健衛生及び安全管理に関すること。
- (12) 職員の被服等貸与品の支給に関すること。
- (13) 消防職員委員会に関すること。
- (14) 予算に関すること。
- (15) 備品台帳に関すること。
- (16) 庁舎等の維持管理に関すること。
- (17) 他の課等との連絡に関すること。
- (18) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (19) 消防統計に関すること。
- (20) 他の課の所管に属さない事項に関すること。

### 予 防 課

- (1) 火災予防の対策、普及、指導及び査察に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。
- (3) 消防用設備の検査及び指導に関すること。
- (4) 防火管理者に関すること。
- (5) 建築許可等の同意事務に関すること。
- (6) 危険物の規制に関すること。
- (7) 県証紙の売りさばきに関すること。
- (8) 高圧ガス及び液化石油ガスの規制に関すること。
- (9) 火薬類の規制に関すること。
- (10) 予防統計に関すること。
- (11) 防火協力団体に関すること。
- (12) 広報に関すること。
- (13) 消防クラブの育成及び指導に関すること。
- (14) その他予防業務に関すること。

## 警 防 課

- (1) 消防計画に関すること。
- (2) 消防の地理及び水利に関すること。
- (3) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関すること。
- (4) 消防、救急及び救助技術の研究並びに訓練指導に関すること。
- (5) 消防機械器具の整備及び取り扱いに関すること。
- (6) 消防相互応援に関すること。
- (7) 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- (8) 消防団に関すること。
- (9) 自主防災組織の消防指導に関すること。
- (10) 消防救助隊に関すること。
- (11) 救急及び救助の計画並びに統計に関すること。
- (12) その他警防業務に関すること。

## 通信指令課

- (1) 消防通信に関すること。
- (2) 通信施設等の整備、保守及び管理に関すること。
- (3) 警報及び情報連絡に関すること。
- (4) 気象観測及び気象情報に関すること。
- (5) その他通信指令業務に関すること。

## 消 防 署

- (1) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関すること。
- (2) 救急及び救助に関すること。
- (3) 危険区域等の警防計画に関すること。
- (4) 消防機械器具の整備、運用及び保管に関すること。
- (5) 火災予防の指導及び査察の実施に関すること。
- (6) 消防対象物の調査及び立入検査に関すること。
- (7) 消防署関係届出等の処理に関すること。
- (8) 煙火の消費に係る届出の受理及び許可に関する事務並びに立入検査に関すること。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 消防の地理及び水利に関すること。
- (11) 消防の教育及び訓練に関すること。
- (12) 消防救助隊の訓練に関すること。
- (13) 消防団及び自主防災組織との連携共助に関すること。
- (14) 消防統計に関すること。
- (15) 消防署員の服務及び教養に関すること。
- (16) その他消防署に関すること。

## 消防本部・消防署別職員配置状況

令和3年4月1日現在

階級		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
所属										
職員条例定数		182								
職員合計		161	1	7	28	45	24	25	31	0
消防本部	消防長	1	1							
	消防次長	1		1						
	管理課	11		(1)	3	4	1		3	
	予防課	8		1	1	3	1	2		
	警防課	5		1	1	2	1			
	通信指令課	11		1	4	3	2	1		
	小計	36	1	4	9	12	5	3	3	0
消防署	御殿場消防署	53		2	8	14	7	7	15	
	富士岡分署	14			2	5	2	3	2	
	西分署	16			3	3	4	2	4	
	小山消防署	27		1	4	6	4	7	5	
	須走分署	14			2	5	2	3	2	
	小計	124	0	3	19	33	19	22	28	0

※注1 消防本部管理課内（静岡県消防学校派遣1人、五輪組織委員会派遣1人、御殿場市派遣1人、広域行政組合事務局出向1人、初任科入校者3人を含む。）

※注2 消防本部警防課内（御殿場市から派遣1人を含む。）

※注3 (1)は兼務を表す。管理課長は消防次長が兼務する。

## 職員年齢状況

令和3年4月1日現在

階級		比率%	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
年齢											
平均年齢			41.9	57.0	56.7	51.0	42.5	34.3	29.1	22.8	0
合計		100.0	161	1	7	28	45	24	25	31	0
20歳未満		3.1	5							5	
20歳～24歳		11.2	18							18	
25歳～29歳		18.0	29						21	8	
30歳～34歳		9.9	16					14	2		
35歳～39歳		12.4	20				10	9	1		
40歳～44歳		12.4	20				19	1			
45歳～49歳		18.0	29			13	16				
50歳～54歳		6.2	10			10					
55歳以上		8.8	14	1	7	5			1		

## 職員勤続年数状況

令和3年4月1日現在

階級 年数	構成 比	合計	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他の 職員
平均勤続年数			35.0	36.1	30.7	21.6	12.8	6.8	3.1	0
合計	100	161	1	7	28	45	24	25	31	0
5年未満	17.4	28						6	22	
5年以上～10年未満	14.9	24					3	12	9	
10年以上～15年未満	13	21				1	14	6		
15年以上～20年未満	11.8	19				12	7			
20年以上～25年未満	13.7	22			2	20				
25年以上～30年未満	11.8	19			7	12				
30年以上	17.4	28	1	7	19			1		

## 職員任用状況

令和3年4月1日現在

区分 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
職員定数	155	155	155	155	155	160	160	160	160	182
職員数	153	152	151	151	153	152	150	150	155	161
採用者数	4	5	5	6	6	6	8	4	8	3
退職者数	3	10	5	5	7	9	2	3	1	2
再任用者					1	1			1	1

※ 職員数は、令和3年度から派遣者・出向者を含む。

## 派遣等の状況

令和3年4月1日現在

区分 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
御殿場市へ派遣	1	2	1	2	2	1	1	1	1	1
広域行政組合事務局へ出向						1	1	1	1	1
五輪組織委員会へ派遣								1	1	1
静岡県防災ヘリ（航空隊）へ派遣	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—
消防学校への教官派遣	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
御殿場市からの派遣	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

## 令和3年度常備消防費当初予算

令和3年4月1日現在

### 歳入

(単位：千円)

款	令和3年度	令和2年度	比較	説明
分担金及び負担金	1,059,394	995,909	63,485	御殿場市
	334,358	369,198	△ 34,840	小山町
使用料及び手数料	3,967	4,321	△ 354	危険物手数料等
国庫支出金	75,160		75,160	国庫補助金
県支出金	2,376	39,226	△ 36,850	県補助金
諸収入	6,703	7,033	△ 330	東名救急業務支弁金
	9,634	9,140	494	その他
組合債	157,500	12,500	145,000	
合計	1,649,092	1,437,327	211,765	

### 歳出

(単位：千円)

目	節	令和3年度	令和2年度	比較
常備消防費	報酬	256	256	0
	給料	582,640	569,174	13,466
	職員手当等	446,302	440,138	6,164
	共済費	199,650	205,034	△ 5,384
	災害補償費	1	1	0
	報償費	15	26	△ 11
	旅費	2,661	4,529	△ 1,868
	需用費	76,597	87,724	△ 11,127
	役務費	17,501	17,057	444
	委託料	25,486	27,207	△ 1,721
	使用料及び賃借料	12,581	12,931	△ 350
	原材料費	68	70	△ 2
	備品購入費	236,605	58,517	178,088
	負担金補助及び交付金	6,593	13,130	△ 6,537
	公課費	850	1,533	△ 683
	合計		1,607,806	1,437,327

## 相互応援協定等の締結状況

### 県内協定

令和3年4月1日現在

協定名	締結日	協定締結先
消防相互援助協約	昭和62年2月19日	キャンプ富士消防署
静岡県消防相互応援協定	昭和62年3月2日	県下各市町長及び消防組合管理者
東名高速道路内の御殿場・裾野・沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和63年3月29日	裾野市長 長泉町長 沼津市長
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月29日	県下各市町長及び消防組合管理者
伊豆マウンテンバイクコース及び伊豆ベロドロームにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日	県下各市町長及び消防組合管理者
富士スピードウェイにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日	県下各市町長及び消防組合管理者
新型コロナウイルス感染症患者等の搬送に関する協定	令和3年3月23日	静岡県知事
御殿場市・小山町広域行政組合と富士山南東消防組合の新東名高速道路における消防業務に係る相互応援に関する協定	令和3年3月30日	富士山南東消防組合 管理者

### 県外協定

協定名	締結日	協定締結先
非常出入口の使用に関する協定	昭和45年 4月24日	中日本高速道路(株)高速道路東京管理局
東名高速道路都夫良野トンネルにおける無線通信補助設備の便宜供与に伴う協定	昭和59年 3月 8日	中日本高速道路(株)東京第一管理局長 外
非常出入口の使用に関する協定	昭和62年 3月11日	中日本高速道路(株)東京第一管理局長
小田原市と御殿場市・小山町広域行政組合との消防相互応援協定	平成25年3月31日	小田原市長
箱根町及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成28年 6月 1日	箱根町長
東名高速道路 都夫良野トンネル他における無線通信設備等の使用に関する協定	平成28年7月29日	中日本高速道路(株)東京支社保全・事業サービス事業部長
富士五湖広域行政事務組合及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成 28年8月 19日	富士五湖広域行政事務組合消防長

### その他

協定名	締結日	協定締結先
ガス漏洩爆発事故対策に関する申合せ	昭和55年12月 1日	静岡県プロパンガス協会東部支部 御殿場地区会御殿場小山各ブロック会 外
小山町無線放送施設に関する運用協定	平成6年6月1日	小山町長
大規模災害に際しての消防及び自衛隊の相互協力に関する協定	平成 8年 1月17日	消防庁次長 防衛庁防衛局長
移動体電話からの119番通報の取扱いに関する協定	平成10年10月1日	県下各市町村長及び一部事務組合代表者
携帯電話等から消防機関への119番通報の接続に関する覚書	平成20年6月17日	株式会社エヌ・ティ・ティ ドコモ東海 外
御殿場市防災行政無線行政無線(同報系)遠隔装置の運用に関する協定	平成25年3月7日	御殿場市長
大規模災害等発生時における緊急消防援助隊等の駐車場使用に関する協定	平成26年6月5日	御殿場プレミアム・アウトレット三菱地所・サイモン株式会社支配人
災害時における支援に関する協定	平成29年10月20日	静岡県東部生コンクリート販売協同組合 外

### 消防団協定

協定名	締結日	協定締結先
御殿場市・小山町間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	御殿場市長 御殿場市消防団長 小山町長 小山町消防団長
御殿場市・裾野市間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	御殿場市長 御殿場市消防団長 裾野市長 裾野市消防団長

### 3 予 防

#### [防火対象物]

令和2年度の防火対象物は4,115件（御殿場市3,357件、小山町758件）となり、前年と比べ48件増加した。

建築同意件数は、317件で前年より90件増加した。

立入検査は、旅館・ホテル等91件を実施した。また、防火管理の徹底を図るため甲種防火管理者資格取得講習会を1回実施した。

#### [危険物]

管内の危険物製造所等の施設数は703施設で、前年に比べ4施設増加した。

危険物施設の設置許可数は10件で1件の増加、変更許可数は74件で19件の増加、完成検査は81件で23件の増加、廃止届は7件であった。

また、申請手数料については、3,653,800円で昨年に比べ約82万円の増加であった。

危険物に関する事故の未然防止を図るため、屋内貯蔵所・屋外貯蔵所の立入検査を実施し危険物取扱者の適正配置等を指示し事故防止の徹底に努めた。



(危険物屋外貯蔵所検査)



# 防火対象物現況数

令和2年度

用途別		市 町 別	合計	御 殿 場 市	小 山 町
合 計			4,115	3,357	758
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	5	4
	ロ	公会堂又は集会場	26	18	8
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0		
	ロ	遊技場又はダンスホール	18	17	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0		
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	1	
	ロ	飲食店	159	143	16
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	298	273	25
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	202	152	50
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	999	906	93
6項	イ	病院、診療所又は助産所	79	70	9
	ロ	老人短期入所施設等	55	48	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	68	59	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	10	2
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等	134	101	33
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	4	1
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8	5	3
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場	4	2	2
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	43	30	13
12項	イ	工場又は作業場	648	497	151
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	52	34	18
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	2	2	
14項		倉庫	268	192	76
15項		前各項に該当しない事業場	687	492	195
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	259	230	29
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの	72	61	11
16項の2		地下街	0		
16項の3		建築物の地階で連続して地下道に面したものの等	0		
17項		文化財保護法による重要文化財等	3	2	1
18項		延長50メートル以上のアーケード	0		
19項		市町村長の指定する山林	0		
20項		自治省令で定める舟車	0		

# 用途構造別建築同意件数

令和2年度

用途別	市 町 別		御 殿 場 市					小 山 町						
	構造別(棟別)		木 造	鉄 骨	鉄ク 筋リ コ ント	そ の 他	同意件数計		木 造	鉄 骨	鉄ク 筋リ コ ント	そ の 他	同意件数計	
							2 年 度	元 年 度					2 年 度	元 年 度
合 計			75	100	8	14	197	159	26	81	5	8	120	68
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場					0	0					0	0
	ロ	公会堂又は集会場		1			1	0					0	0
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等					0	0					0	0
	ロ	遊技場又はダンスホール					0	0					0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0	0					0	0
	ニ	カラオケボックス等					0	1					0	0
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの					0	0					0	0
	ロ	飲食店	1	1			2	5					0	0
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	3	3			6	10		1			1	2
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	21	15	1		37	3	6				6	0
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1	13	6		20	18					0	3
6項	イ	病院、診療所又は助産所		1			1	4					0	0
	ロ	老人短期入所施設等		3			3	1	2		2		4	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	4			7	3	1		2		3	2
	ニ	幼稚園・特別支援学校					0	0					0	0
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等					0	7					0	0
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					0	0					0	0
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等					0	1					0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					0	0					0	0
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場					0	2					0	0
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの					0	1					0	1
12項	イ	工場又は作業場	1	4			5	4		36			36	11
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					0	0					0	0
13項	イ	自動車車庫又は駐車場				2	2	3	2	4			6	3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					0	0					0	0
14項		倉庫	4	11			15	8		2			2	6
15項		前各項に該当しない事業場	3	20		12	35	44	5	27		8	40	11
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	1	1			2	2	2	3			5	0
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの					0	0					0	1
小 計			38	77	7	14	136	117	18	73	4	8	103	40
専 用 住 宅			21	8			29	12	5	3			8	10
そ の 他			16	15			31	30	3	5			8	18
小 計			37	23			60	42	8	8			16	28
計 画 通 知					1		1	1			1		1	0
小 計			0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0

16項の2・18項～20は該当なし

用途別	実施状況	対象数	実施数	実施率%
合計		95	91	96
旅館・ホテル等 (5項イ)		95	91	96

## 住宅用火災警報器を設置しましょう。

全ての住宅に、平成21年6月1日（御殿場市・小山町広域行政組合火災予防条例）から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

**住宅用火災警報器**

**10年を目安に取り替えましょう!!**

家族を守る強い味方も、  
鳴らないと意味がありません!

編集：一般財団法人 日本防火・防災協会 発行：日本消防検定協会

住宅用火災警報器は、10年以上経つと内部の部品が劣化して、正常に動かなくなるおそれがありますので、本体の交換が望ましいとされています。

# 管内 5 階以上の建築物一覧

御殿場市（御殿場市内：116棟）

5階（71棟）

令和2年度

名 称	用途	名 称	用途
御殿場市市民会館	公会堂	御殿場レックスハイツ	共同住宅
御殿場美華ガーデン	飲食店	コーポラス新橋	〃
御殿場高原ホテル（時の栖）	ホテル	アイクレスト御殿場 1	〃
ホテルセレクトイン富士山御殿場	〃	アイクレスト御殿場 2	〃
ゆうらいふ御殿場	〃	東山ガーデンハウス	〃
ホテル ルミエール御殿場	〃	M-BS御殿場壱番館	〃
御殿場高原ホテル（時の栖別館）	〃	滝ヶ原ぐみ沢宿舎	〃
ホテル昴	〃	ロイヤルシャトー御殿場南	〃
レンブラントスタイル御殿場駒門	〃	ベルメゾンごてんば	〃
ドーミーインEXPRESS富士山御殿場	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（6号隊舎）	〃
滝ヶ原宿舎（A）	宿舎	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（10号隊舎）	〃
滝ヶ原宿舎（B）	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（34号隊舎）	〃
萩原宿舎 1号棟	〃	コーポラス板妻	〃
萩原宿舎 2号棟	〃	ラブレジール御殿場二の岡	〃
滝宿舎 1号棟	〃	コンフォート向原	〃
滝宿舎 2号棟	〃	富士病院	病院
滝宿舎 3号棟	〃	県立御殿場高等学校	学校
ビレッジハウス御殿場	〃	御殿場プレミアムアウトレット第4駐車場	駐車場
杉原宿舎 1号棟	〃	キリンディスティラリー御殿場工場	工場
杉原宿舎 2号棟	〃	小林工芸	〃
エトワール御殿場	共同住宅	岡山国際サーキット	倉庫
サンコーボ第2新橋	〃	滝ヶ原駐屯地（格納庫）	〃
グリーンタウンぐみ沢	〃	タウン社	事務所
コーポラス野中	〃	御殿場市役所	〃
コーポカツマタ	〃	滝ヶ原駐屯地543隊舎	〃
ソシオ御殿場	〃	マースエンジニアリングテクノ物流センター	〃
日立ハイテクサイエンス	〃	芝浦機械(株)御殿場工場 新技術棟	〃
ヴィラ御殿場	〃	滝口ビル	複合用途
ファミリーヴィラ御殿場	〃	さんどーるビル	〃
メゾン・グッチ	〃	シティープラザB-1ビル	〃
レスバーニャよしの A棟	〃	メゾン東富士	〃
レスバーニャよしの B棟	〃	興産ビル	〃
シャンドン御殿場	〃	みやざきやビル	〃
アピターレ	〃	レジデンス杉山	〃
グランピュア・カミヤ	〃	箱根東山館	〃
クインテッセンス御殿場	〃		

6階（18棟）

名 称	用途	名 称	用途
TOTO(株)東富士研修所	ホテル	ウイステリア御殿場参番館	共同住宅
レンブラントプレミアム富士御殿場	〃	アーバンシティー御殿場	〃
いやし処ほてる寛楽富士山御殿場	〃	トゥール御殿場	〃
モナーク御殿場	共同住宅	ヴィラS&T	〃
フォーシーズン大坂	〃	ベルクレール御殿場	〃
サンコーボ第3新橋	〃	ウイステリアコート川島田	〃
富士ランドフジビューマンション	〃	ウイステリア御殿場	〃
御殿場ヒルズ	〃	大和田ビル	複合用途
リシャール御殿場	〃	御殿場ミュージアムタワー	〃

7階（11棟）

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場式番館	共同住宅	オサコー建設 社屋	〃
シャレーフジハイランド	〃	くれたけイン御殿場インターホテル	ホテル
ウイステリア御殿場アクシス	〃	ホテルルートイン御殿場	〃
Breeze GOTENBA	〃	スーパーホテル御殿場1号館	〃
トヨタ自動車東富士研究所（C11棟）	事務所	湯山ビル	複合用途
トヨタ自動車東富士研究所（C12棟）	〃		

### 8階（4棟）

名 称	用途	名 称	用途
ルートイン御殿場別館	ホテル	HOTEL CLAD 木の葉の湯	ホテル
スーパーホテル御殿場Ⅱ号館	〃	中外製薬(株)御殿場社員寮	共同住宅

### 9階（7棟）

名 称	用途	名 称	用途
御殿場高原ホテルB, U	ホテル	Y-TOWN御殿場 社宅棟	共同住宅
ホテルα 1 御殿場インター	〃	Y-TOWN御殿場 寮・厚生棟	〃
ルートイン御殿場駅南	〃	シティープラザC-1ビル	複合用途
エンブル・ガーデン御殿場	共同住宅		

### 10階（1棟）

名 称	用途
リバルテ御殿場	共同住宅

### 11階（1棟）

名 称	用途
オブリージュ御殿場レジデンス	共同住宅

### 12階（2棟）

名 称	用途	名 称	用途
ウイステリア御殿場東	共同住宅	マースガーデンウッド御殿場	ホテル

### 14階（1棟）

名 称	用途
タワーコート御殿場	共同住宅

## 小山町（小山町内：28棟）

### 5階（19棟）

名 称	用途	名 称	用途
グランファミリア落合	共同住宅	富士（10）下原宿舎（1号棟）	共同住宅
須走宿舎14号棟	〃	富士（10）下原宿舎（2号棟）	〃
県営住宅小山第1団地	〃	富士（10）下原宿舎（3号棟）	〃
柳沢宿舎 A棟	〃	高原コンドC棟	〃
柳沢宿舎 B棟	〃	高原コンドB棟	〃
須走宿舎12号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎13号棟隊舎	隊舎
須走宿舎13号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎(6)	〃
サンハイツ須走	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎(7)	〃
須走宿舎K号棟	〃	富士学校 隊舎(321)	複合用途
富士特別借受宿舎	〃		

### 6階（3棟）

名 称	用途	名 称	用途
アイリスオーヤマ富士小山工場	工場	陸上自衛隊富士学校313号隊舎	隊舎
東海カーボン富士研究所	研究所		

### 7階（1棟）

名 称	用途
ホテルジャストワン富士小山	ホテル

### 8階（2棟）

名 称	用途	名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅	(株)東海（3工場）	工場

### 9階（2棟）

名 称	用途	名 称	用途
富士美華リゾート	ホテル	富士ざくらホテル	ホテル

### 10階（1棟）

名 称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅

# 消防用設備等設置状況

令和2年度

市町別	御 殿 場 市									小 山 町									
	設備名	屋内消火栓設備	スプリンクラー	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消火ポンプ	自動火災報知設備	非常警報器具・設備	避難器具	誘導灯・誘導標織	屋内消火栓設備	スプリンクラー	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消火ポンプ	自動火災報知設備	非常警報器具・設備	避難器具	誘導灯・誘導標織
合計		345	77	94	131	15	1,381	550	343	1,304	100	17	44	50	4	374	116	57	301
1項	イ	1	1				2	2	1	2	1			1		3	3	1	3
	ロ	6	1				12	13	2	16						6	4		6
2項	イ																		
	ロ	4	1	2			17	11	3	20						1	1		1
	ハニ								3	1	3					1			1
3項	イ						1			1									
	ロ	5			4		61	55	15	129	3	1	1			12	5		15
4項		13	6	9	29	1	132	101	7	228						5	8		19
5項	イ	31	5	5	8	2	138	31	35	87	14	3	4	3		51	19	15	41
	ロ	22	2	10	5		161	69	148	47	11			1		31	11	26	17
6項	イ	9	6		1		39	26	9	56	3					6	4	2	7
	ロ		27				46	17	7	44		7				7	2	2	7
	ハ	2	10				32	18	8	42	1	2				4	1	2	8
	ニ	4					10	6	1	12	1					3			2
7項		60		1			85	43	16	31	13					26	9	1	6
8項		3					5	2		4									
9項	イ																		
	ロ	1					2	2		2	1					2	1		3
10項																			
11項		1					3	15		6	1					2	4		6
12項	イ	85	6	34	53	8	250	4	4	158	22	3	21	30	2	96	5	3	57
	ロ																		
13項	イ	1		19			21	2		10			5			5			4
	ロ	1					2												
14項		34	6	3	23	4	110	1	3	68	8	1	6	12	2	39		3	17
15項		45		7	6		138	92	18	161	15		6	3		55	32	1	58
16項	イ	13	5	4			94	35	56	158	3		1			15	7	1	18
	ロ	4	1		1		15	5	9	19	3					4			5
17項					1		2												

※16項の2・18項～20項は該当なし

## 火災予防条例による届出件数

令和2年度

届出の種類	届出件数	御殿場市	小山町
合計	1,222	849	373
禁止行為の解除承認申請	18	17	1
防火対象物使用開始(変更)届出	64	51	13
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー等設置届出	57	32	25
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出	87	57	30
ネオン管灯設備設置届出	0		
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0		
火災とまぎらわしい煙又は火災を発生おそれのある行為の届出	331	182	149
煙火打上げ・仕掛け届出	89	71	18
催物開催届出	14		14
水道断水・減水届出	2		2
道路工事届出	471	380	91
指定洞道等届出(新規・変更)	0		
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	38	33	5
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱開始・廃止届出	43	21	22
露店	8	5	3

## 枯草処置指導件数

令和2年度

調査	調査延日数	調査延人員	調査件数	調査延面積
	3日	10人	15件	133.77 a
処置	確認延日数	確認延人員	処置済件数	処置済面積
	3日	16人	0件	0 a

## 月別煙火許可件数

令和2年度

月別	許可合計	3号～10号の数量	スターマイン(台)	仕掛(台)	その他	手数料(円)
合計	23	2,647	147	0	410	173,800
4月						0
5月						0
6月						0
7月	6	346	19			39,500
8月	3	277	22			23,700
9月	4	853	47			31,600
10月	2	374	13		180	15,800
11月	2	38			140	15,800
12月	2	120	2		90	15,800
1月						0
2月	3	521	38			23,700
3月	1	118	6			7,900

## 類別危険物施設数

令和2年度

市 町 別	施設別 類別	合計	製造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
	合計	703	13	116	159	8	130	2	35	26	476	100	2	112	214
御 殿 場 市	第4類	498	6	81	120	6	91	1	28	5	332	71	2	87	160
	その他	3		2							2			1	1
	小計	501	6	83	120	6	91	1	28	5	334	71	2	88	161
小 山 町	第4類	193	5	30	39	2	39	1	3	21	135	29		24	53
	その他	9	2	3					4		7				0
	小計	202	7	33	39	2	39	1	7	21	142	29	0	24	53

## 数量別危険物施設数

令和2年度

市 町 別	施設別 数量別	合計	製造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
	合計	703	13	116	159	8	130	2	35	26	476	100	2	112	214
御 殿 場 市	5倍以下	177		27	21	4	45	1	24	2	124	10	2	41	53
	5倍を超え10倍以下	97	1	22	24	1	21		1	2	71	4		21	25
	10倍を超え50倍以下	140	2	22	56	1	12		3	1	95	24		19	43
	50倍を超え100倍以下	26	1	3	12		3				18	5		2	7
	100倍を超え150倍以下	17		4			4				8	6		3	9
	150倍を超え200倍以下	14	1	2	4		2				8	5			5
	200倍を超え1000倍以下	27	1	2	3		4				9	17			17
	1000倍を超え5000倍以下	3		1							1				2
小計	501	6	83	120	6	91	1	28	5	334	71	2	88	161	
小 山 町	5倍以下	57	1	9	5		20	1	3	1	39	10		7	17
	5倍を超え10倍以下	50	1	9	6	2	15			6	38	2		9	11
	10倍を超え50倍以下	58	3	8	20		4		2	11	45	5		5	10
	50倍を超え100倍以下	20	2	2	8				2	2	14	3		1	4
	100倍を超え150倍以下	6									0	5		1	6
	150倍を超え200倍以下	5		1						1	2	2		1	3
	200倍を超え1000倍以下	6		4							4	2			2
	1000倍を超え5000倍以下	0									0				0
小計	202	7	33	39	2	39	1	7	21	142	29	0	24	53	



業態別危険物施設の状況

令和2年度

市 町 別	施設別 業態別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所									取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
合 計		703	13	116	159	8	130	2	35	26	476	100	2	112	214	
御 殿 場 市	石 油 類 等 販 売	57			2					21		23	28		6	34
	一 般 会 社	277	6	72	80	4	37				5	198	13		60	73
	自 衛 隊	56		6	21		4			6		37	7		12	19
	宿 泊 所	20			2		15					17			3	3
	商 店 ( 販 売 )	2										0			2	2
	官 公 署	30		1	14		9					24	2		4	6
	病 院 等	4		1	1	1	1					4				0
	運 輸 会 社	11		1			1					2	9			9
	塗 料 販 売	4		2								2		2		2
	そ の 他	40				1	24	1	1			27	12		1	13
	小 計	501	6	83	120	6	91	1	28	5	334	71	2	88	161	
小 山 町	石 油 類 等 販 売	15								3		3	9		3	12
	一 般 会 社	113	7	25	29	2	17				21	94			12	12
	自 衛 隊	20		6	8		1					15	2		3	5
	宿 泊 所	4					3					3			1	1
	商 店 ( 販 売 )	3										0			3	3
	官 公 署	6					5					5			1	1
	病 院 等	2					2					2				0
	運 輸 会 社	9		2						4		6	3			3
	塗 料 販 売	0										0				0
	そ の 他	30			2		11	1				14	15		1	16
小 計	202	7	33	39	2	39	1	7	21	142	29	0	24	53		

# 危険物関係届出状況

令和2年度

市町別	施設別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			小計
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
合計		128	2	37	36	0	18	0	3	7	101	7	0	18	25
御殿場市	危険物保安監督者選解任届	58		16	8		14				38	5		15	20
	危険物種類数量変更届	10		8							8	1		1	2
	危険物施設譲渡引渡届	2							2		2				0
	危険物施設用途廃止届	4		2			1		1		4				0
	小計	74	0	26	8	0	15	0	3	0	52	6	0	16	22
小山市	危険物保安監督者選解任届	43	2	5	27		1			7	40	1			1
	危険物種類数量変更届	7		6							6			1	1
	危険物施設譲渡引渡届	1					1				1				0
	危険物施設用途廃止届	3			1		1				2			1	1
	小計	54	2	11	28	0	3	0	0	7	49	1	0	2	3

## 令和3年度 危険物安全推進標語

『 事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム 』

## 危険物施設許可・完成検査件数

令和2年度

施設別 処理状況	年度	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
許可	設置	R2	10	1	1	1	1		1		5	2		3	5	
		R1	9	1	2	2		1		1	6	1		1	2	
		30	11		5	2			1		8	2		1	3	
	変更	R2	74	8	1	3	1	2		4		11	10		45	55
		R1	55	11				2		3		5	9		30	39
		30	79	16		5		2			7	7		49	56	
完成検査	設置	R2	11	1	2	2		1		1	1	7	1		2	3
		R1	6		2			1				3	2		1	3
		30	9		4	2			1		7	1		1	2	
	変更	R2	70	9	1	3	1	2		4		11	9		41	50
		R1	52	10				2		3		5	7		30	37
		30	77	15		5	1	2			8	7		47	54	

## 過去10年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移

年区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
設置許可	10	14	19	7	12	6	8	11	9	10
変更許可	73	88	100	85	73	105	71	79	55	74
完成検査	72	96	123	93	72	121	75	86	58	81
廃止届	25	35	24	18	13	18	24	18	6	7

※14年刊行版から年度表示

令和2年度

## 申請手数料収入状況

(単位:円)

合計	設置	変更	完成	水張	水圧	仮使用	仮貯蔵 仮取扱	再交付
3,653,800	339,000	1,756,000	1,048,000	6,000	22,000	340,200	118,800	23,800

## 広報活動の概要

令和2年度

区 分	内 容	時 期	備 考
報 道 対 応	新聞社等に情報の提供	随 時	市内の報道機関5社
広 報 紙	御殿場市、小山町の広報紙に火災予防や救急等の記事を掲載し防災意識の高揚を図る	随 時	広報ごてんば 広報おやま
施 設 見 学	行政視察	年 間	
	各種団体施設見学	年 間	
	保育園・幼稚園消防署見学	5月～11月	
	小学4年生社会科見学	5・6・11月	
火災予防啓発推進 事業	危険物安全週間街頭広報	6月10日	中止
	「救急の日」広報	9月3日～9日	救急医療週間
	火災予防運動	11月・3月	春季・秋季火災予防週間
	幼児防火・交通安全のつどい	10月16日	御殿場（中止）
	幼児防火・交通安全パレード	10月22日	小山（中止）
	防火ポスター		BFC 御殿場南中・沼田 IFC保育園4園
防 災 訓 練	静岡県総合防災訓練	9月1日	
	地域防災訓練	11月24日 12月3日	モデル地区 市内一斉
無 線 通 報	消防だより	随 時	
	火災予防一口広報	火災予防週間	小山町
	防災の日（毎月第3日曜日）		小山町
	火災予防広報	随 時	

### 令和3年度全国統一防火標語

『おうち時間 家族で点検 火の始末』

## 高齢者の防火訪問診断実施状況

令和2年度

市 町 別	実 施 時 期	対 象 世 帯 数	実 施 数
御 殿 場 市	春・秋季火災予防運動中等	629	0
小 山 町	春・秋季火災予防運動中等	180	0
合 計		809	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため郵送にて資料配布。

## 防火指導・講習・訓練実施状況

令和2年度

対 象 団 体	実 施 回 数	実 施 内 容 ( 回 )					受 講 人 数	指 職 員 導 数
		救 急	講 話	花 火	消 訓 防 練	そ の 他		
合 計	21	1	1	16	3	0	1,340	118
自 主 防 災 会								
事 業 所	1	1					23	12
消 防 ク ラ ブ	16			16			1,017	91
消 防 団								
小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校	1		1				30	5
幼 稚 園 ・ 保 育 園	3				3		270	10
そ の 他 の 団 体								

## 救命講習会実施状況

令和2年度

内 容	回 数	受 講 者 数
普 通 救 命 講 習 会 I	0	0
普 通 救 命 講 習 会 II	0	0
普 通 救 命 講 習 会 III	0	0
上 級 救 命 講 習 会	0	0
合 計	0	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため実施せず。

## 甲種防火管理者資格取得講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受 講 者 数	172	170	162	161	43

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため縮小して実施。

## 甲種防火管理者再講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受 講 者 数	23	16	23	16	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため実施せず。

# 御殿場市小山町防火安全協会

1 目的 事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、  
火災等の災害を防止し、自主的な活動を推進するとともに、消防機関と  
密接な連絡を保ち、会員相互の親睦を図ることにより、事業の健全なる振興  
発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 名称 御殿場市小山町防火安全協会

3 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号  
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内  
電話 0550-83-0119

4 設立 平成16年5月28日

5 組織 (1) 会長 1名  
(2) 顧問 2名  
(3) 相談役 1名  
(4) 副会長 4名  
(5) 監事 2名  
(6) 会計 2名  
(7) 理事 23名

6 会員数 令和2年3月31日現在 318会員

一般防火対象物の会員		危険物を貯蔵、取扱う施設の会員	
(1) 事務所その他の施設	34	(1) 給油取扱所	34
(2) 物販店	10	(2) LPガス販売所	18
(3) 旅館・ホテル	34	(3) 灯油販売所	3
(4) ゴルフ場・リクレーション施設	7	(4) 工場・事業所	104
(5) 工場	19	(5) 塗料販売所	2
(6) 飲食店	22	(6) 賛助事業所	4
(7) 研修所・研究所	11		
(8) パチンコ店	2		
(9) 病院・医院	14		

7 年間予算 4,300,000 円

8 事業 (1) 防火管理並びに危険物等の取扱いと管理に関する研究、調査  
(2) 講習会、懇談会の開催  
(3) 消防関係法令の周知徹底  
(4) 防火・安全の普及、宣伝  
(5) 特に功労のあった事業所、団体及び会員等の表彰  
(6) 所管官庁との連絡、協力  
(7) 会員相互の融和及び情報交換  
(8) その他、この会の目的を達成するため必要な事業

# 御殿場小山幼少年防火委員会

御殿場市及び小山町の幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ育成強化を通して地域の自主防災組織の育成と防火防災意識の高揚をはかるために昭和56年5月1日に「御殿場小山少年婦人防火委員会」が発足し、平成23年5月に「御殿場小山幼少年女性防火委員会」、令和2年5月に「御殿場小山幼少年防火委員会」と改名しました。

- (1) 会 長 1名
- (2) 委 員 11名
- (3) 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号  
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内  
電話 0550-83-0119

## 1 幼年消防クラブ：23

保育園の年長児を中心として、年間活動を通して火災予防についての理解を深めている。

主な内容は、任命式、救助隊見学、花火教室、幼児防火・交通安全パレード、修了式等を実施している。

### クラブ状況

御殿場市：17

クラブ名	結 成	クラブ名	結 成
玉穂第1保育園	昭和57年5月	原里第2保育園	昭和62年5月
富岳保育園	昭和57年5月	双葉保育園	昭和62年5月
西 保 育 園	昭和59年5月	高根学園保育所	昭和63年5月
高根第1保育園	昭和60年5月	萩原保育園	昭和63年5月
すみれ保育園	昭和60年5月	高根第2保育園	昭和63年5月
東 保 育 園	昭和61年5月	玉穂第2保育園	昭和63年5月
原里第1保育園	昭和61年5月	とらのこ保育園	平成23年4月
神山認定こども園	昭和61年5月	みらい保育園	平成26年4月
印野こども園	昭和62年5月		

小山町：6

ク ラ ブ 名	結 成
すがぬま保育園	昭和58年5月
すばしり保育園	昭和58年5月
きたごうこども園	昭和59年5月
いきどこども園	昭和60年5月
菜の花こども園	平成29年4月
みらいこども園	令和3年4月

## 2 少年消防クラブ：2

地域のクラブは、地域での各種活動をとおして、各家庭へ防火を呼びかけている。

中学校のクラブは、学校の授業として活動し、防火ポスター作成や実習等の活動を通して消防の正しい理解と防火防災意識高揚を図っている。

### クラブ状況

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
沼田少年消防クラブ	大正3年8月	地域家庭に防火の呼びかけ 防火ポスター作成・防火防災体験学習等
御殿場市立南中学校少年消防クラブ	昭和56年4月	防火ポスター作成・防火防災体験学習等

## 4 警 防

災害現場に於ける安全管理の根幹である個別警防計画に基づく検証を行い、消防機械器具の近代化、消防水利の整備を積極的に推進し、限られた機械、人員、水利等を最大限に活用して、各種災害に迅速・有効に機能する体制を構築し消防力の強化とその任務を遂行するために日夜努力し地域住民の安全確保に努めています。



(実火災体験型訓練 ホットトレーニング)



(緊急消防援助隊)



消防本部・消防署配置車両

令和3年4月1日現在

	車両種別	登録番号	車名	登録年月	経過年数	排気量等 ポンプ種別等	機装会社 (型別)	車種	
消防本部	指令車	富士山803さ2175	トヨタ	H28.11	4	1.790		アリオン	
	広報車	富士山803さ2706	三菱	H31.1	2	3.020		バジェロ	
	広報車	富士山503さ172	ニッサン	H20.11	12	1.990		セレナ	
	査察車	富士山403さ4576	ニッサン	H24.7	8	1.590		ADバン	
	その他の車両	富士山581あ3234	ダイハツ	H17.12	15	0.650		アトレー	
消防署	御殿場消防署	消防ポンプ自動車	富士山803さ1781	日野	H27.2	6	4.000 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2級 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン	島山ポンプ	CD-1
		水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は356	日野	R2.1	1	5.120 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,500ℓ	島山ポンプ	I-B
		化学消防ポンプ自動車	富士山803は105	日野	H23.2	10	6.400 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 泡消火薬液槽500ℓ A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,300ℓ	島山ポンプ	II型
		救助工作車	富士山840さ119	日野	H17.2	16	6.400 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup>	テイセン	II型
		はしご付消防ポンプ自動車	富士山803は18	日野	H6.11	26	17.230 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 35m級・規格地上高36.07m	森田ポンプ	専用 ジャン
		小型動力ポンプ付水槽車	富士山803は19	日野	H13.3	20	20.780	島山ポンプ	II型
		救急自動車	富士山803さ3175	トヨタ	R3.1		2.690	テクノクラフト	高規格
		救急自動車	富士山803さ702	トヨタ	H22.11	10	2.690	テクノクラフト	高規格
		指揮車	富士山803さ2465	トヨタ	H30.2	3	2.690		ハイエース
		その他の車両	富士山803さ2948	いすゞ	R2.2	1	2.990 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD		エルフ
	後方支援車	富士山803さ1344	三菱	H25.2	8	2.990 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD	㈱パブコ		
	富士岡分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は22	日野	H19.2	14	6.40 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,500ℓ	島山ポンプ	I-A型
		救急自動車	富士山803さ1557	トヨタ	H26.2	7	2.690	テクノクラフト	高規格
		その他の車両	富士山481う2261	ダイハツ	H26.2	7	0.650 4WD		ハイゼット
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は272	日野	H29.2	4	6.40 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,500ℓ	島山ポンプ	I-B型	
	救急自動車	富士山803さ2715	トヨタ	H31.1	2	2.690	テクノクラフト	高規格	
	資機材搬送車	富士山481え1735	ダイハツ	H28.8	4	0.650		ハイゼット	
小山消防署	指令車	富士山803さ1875	トヨタ	H27.7	5	1.790		アリオン	
	消防ポンプ自動車	富士山803さ1551	日野	H26.2	7	4.000 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2級 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン	島山ポンプ	CD-1	
	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は20	日野	H19.3	14	6.40 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,500ℓ	島山ポンプ	I-A型	
	救助工作車	富士山803は300	日野	H29.12	3	6.40 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup>	テイセン	II型	
	救急自動車	富士山803さ1340	トヨタ	H25.2	8	2.690	テクノクラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481あ4944	ホンダ	H21.12	11	0.650 4WD	ホンダ	アクティ	
須走分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は23	日野	H20.2	13	6.40 <sup>テ</sup> イセ <sup>ル</sup> 4WD A-2 2段 <sup>バ</sup> ランスター <sup>ビ</sup> ン1,500ℓ	島山ポンプ	I-A型	
	救急自動車	富士山803さ699	トヨタ	H22.1	10	2.690	テクノクラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481え8265	スズキ	H30.6	2	0.650 4WD		キャリー	

# 救助資機材整備状況

令和3年4月1日現在

No.	品名	御殿場 消防署	富士岡 分署	西分署	小山 消防署	須分 走署	合計
1	ファイバースコープ	1			1		2
2	夜間用暗視カメラ	1			1		2
3	空気式救助マット	1	1	1	1	1	5
4	油圧救助器具	2	1	1	1	1	6
5	マット型空気ジャッキ	2	1	1	2	1	7
6	油圧アルミジャッキ	7	3	4	5	3	22
7	可搬式けん引機 (TU-16以上)	2	1	1	1	1	6
8	ワイヤーロープ(12mm×3m以上)	16	4	5	5	5	35
9	ワイヤーロープ(16mm×3m以上)	7	2	2		2	13
10	シャックル 3/4 インチ	6	3	3	4	3	19
11	シャックル 7/8 インチ	9	3	3	4	3	22
12	滑車ダブル(オーフ式スナッチ付き)	2	1	1	1	1	6
13	滑車シングル(アルミ製)	7	2	3	6	4	22
14	ガス溶断機 (背負い式)	2	1	1	2	1	7
15	予備ボンベ(アセチレン・酸素)	2	1	1	2	1	7
16	エンジンカッター	3	2	2	2	2	11
17	チェーンソー	5	1	3	2	2	13
18	削岩機	5	1	1	1		8
19	電動ハンマー	1	1	1	1	1	5
20	衝撃式破壊器具	2	1	1	1	1	6
21	万能斧 (弁慶)	8	2	1	4	1	16
22	発動発電機 (1kW以上)	1	1	1	5	4	12
23	ハロゲン投光器(500W・三脚付き)	11	3	2	5	2	23
24	三連はしご	3	1	1	2	1	8
25	携帯拡声器	12	2	2	6	2	24
26	ナタ・ノコセット	21	8	6	8	5	48
27	大型バール (105cm)	16	6	3	8	7	40
28	ハンマー (3.5kg)	18	5	5	8	5	41
29	掛矢	10	5	5	7	3	30
30	ナイロンロープ (12mm×200m)	2	2	1			5
31	クレモナロープ (10mm×100m)		1	1			2
32	カラビナ (スチール0型)	52	38	23	56	25	194
33	折り畳み担架及び平担架	2	1	1	3	1	8
34	バスケット型担架	2	1	1	1	1	6
35	個人線量計	15					15
36	γ線及びX線用線量率計	3			1		4
37	表面汚染測定器(α, β, γ, X線)	1					1

※車両積載含む

令和3年度水防費・災害対策費当初予算額

(単位：千円)

目	節	御殿場市			小山町			
		令和3年度	令和2年度	比較	令和3年度	令和2年度	比較	
水防費		165	223	△ 58	0	505	△ 505	
	報酬	7	7	0		28	△ 28	
	職員手当等	5	5	0		300	△ 300	
	報償費			0			0	
	旅費			0		17	△ 17	
	需用費	125	183	△ 58		13	△ 13	
	役務費			0		147	△ 147	
	委託料			0			0	
	使用料及び賃借料			0			0	
	原材料費	28	28	0			0	
災害対策費		82,728	111,299	△ 28,571	54,722	36,742	17,980	
(御殿場市)	報酬	6,170	5,041	1,129	1,791	1,737	54	
危機管理費	(小山町)	職員手当等	1,297	1,060	237	12,915	11,406	1,509
	共済費	1,124	914	210	5,969	5,500	469	
	賃金			0	0		0	
	報償費			0	250	250	0	
	旅費	209	239	△ 30	308	316	△ 8	
	需用費	13,976	13,565	411	13,512	10,000	3,512	
	役務費	4,429	2,989	1,440	2,335	418	1,917	
	委託料	12,183	16,814	△ 4,631	8,591	1,350	7,241	
	使用料及び賃借料	720	806	△ 86	1,588		1,588	
	工事請負費			0			0	
	原材料費			0			0	
	備品購入費	1,940	3,403	△ 1,463	1,455	1,062	393	
	負担金補助及び交付金	40,645	46,468	△ 5,823	6,008	4,647	1,361	
	公課費	35		35	0	56	△ 56	
	繰出金	0	20,000	△ 20,000			0	

# 消防水利現況

御殿場市

令和3年4月1日現在

水利の別		分団・地区	合計	御第一	富第二	原第三	玉第四	印第五	高第六
				殿場分	士岡分	分里分	分穂分	分野分	分根分
合計			2,972	995	615	609	355	129	269
防火水槽	100 m <sup>3</sup> 以上	公設	19	8	3	6	1		1
		私設	13		9	2			2
	60 m <sup>3</sup> 以上100 m <sup>3</sup> 未満	公設	14	3	3	6	1	1	
		私設	35	13	7	12	1	1	1
	40 m <sup>3</sup> 以上60 m <sup>3</sup> 未満	公設	330	85	52	67	47	30	49
		私設	301	107	64	76	23	8	23
	40 m <sup>3</sup> 未満	公設	151	5	18	43	36	45	4
		私設	81	29	20	19	10		3
	小計	公設	514	101	76	122	85	76	54
		私設	430	149	100	109	34	9	29
消火栓	公設	1,921	719	394	365	230	42	171	
	私設	28	13	1	7	3		4	
プール			18	5	4	6	1	1	1
池・その他			5	1			1	1	2
堰止施設			56	7	40		1		8

小山町

令和3年4月1日現在

水利の別		分団・地区	合計	小第一	菅第二	藤第三	足第四	北第五	北第六	須第七
				山分	沼分	曲分	柄分	郷北分	郷南分	分走分
合計			964	119	79	118	112	189	220	127
防火水槽	100 m <sup>3</sup> 以上	公設								
		私設								
	60 m <sup>3</sup> 以上100 m <sup>3</sup> 未満	公設	1	1						
		私設	2			1	1			
	40 m <sup>3</sup> 以上60 m <sup>3</sup> 未満	公設	155	12	10	18	15	29	38	34
		私設	22	3	2		2	5	5	4
	40 m <sup>3</sup> 未満	公設	16	1		4	5	1	1	4
		私設	6					1	2	3
	小計	公設	173	14	10	22	20	30	39	38
		私設	29	3	2		3	7	7	7
消火栓	公設	637	95	55	74	77	116	143	77	
	私設	33	2		6		23	1	1	
プール			8		1	2	2			1
池・その他										
堰止施設			84	5	11	14	10	11	30	3



## 5 通 信

令和2年の119番受信回数は5,253件で、昨年より867件減少し、1日平均14件でした。

通信指令課では出動隊に的確な情報提供を行うため、常日頃から指令台の各種データの添削を行い、災害現場において最大限の活動が行えるよう日々努力しています。また、救命率の更なる向上を図るため、救急要請時には応急処置の方法や心肺蘇生法等について口頭指導を行っています。

平成21年度に高機能消防指令システムが運用開始され、消防無線が平成27年度には消防救急デジタル無線設備に更新され、これにより通信の秘匿性が確保されています。

また、平成29年度に高機能消防指令システム延命化事業が完了し、指令管制及び車両管理の中核である当該指令システムは、365日24時間連続稼働の保守管理体制が確保されているため、緊急業務の安定運用が維持されています。

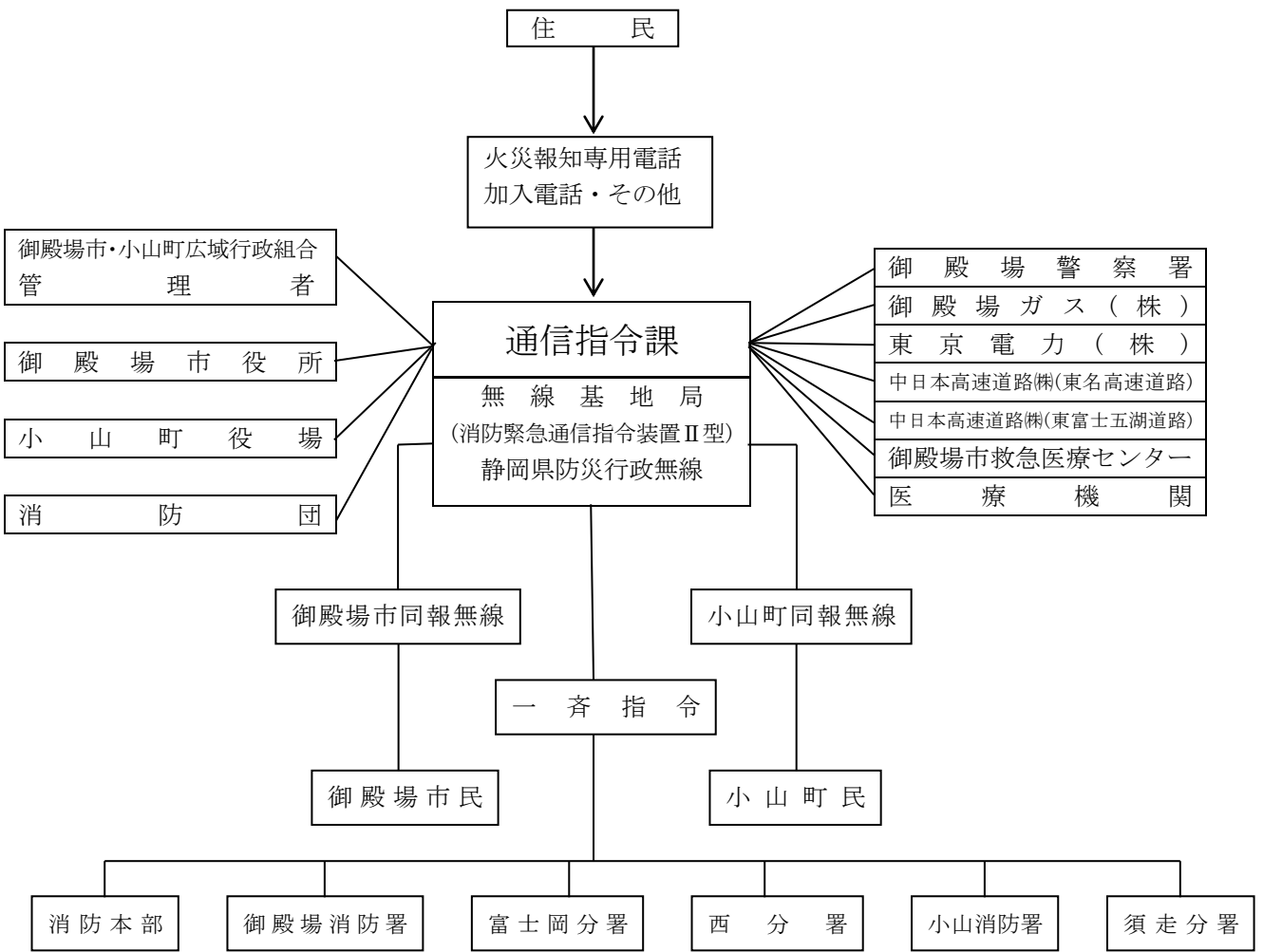
これらにより、住民の安心安全な生活を守ります。



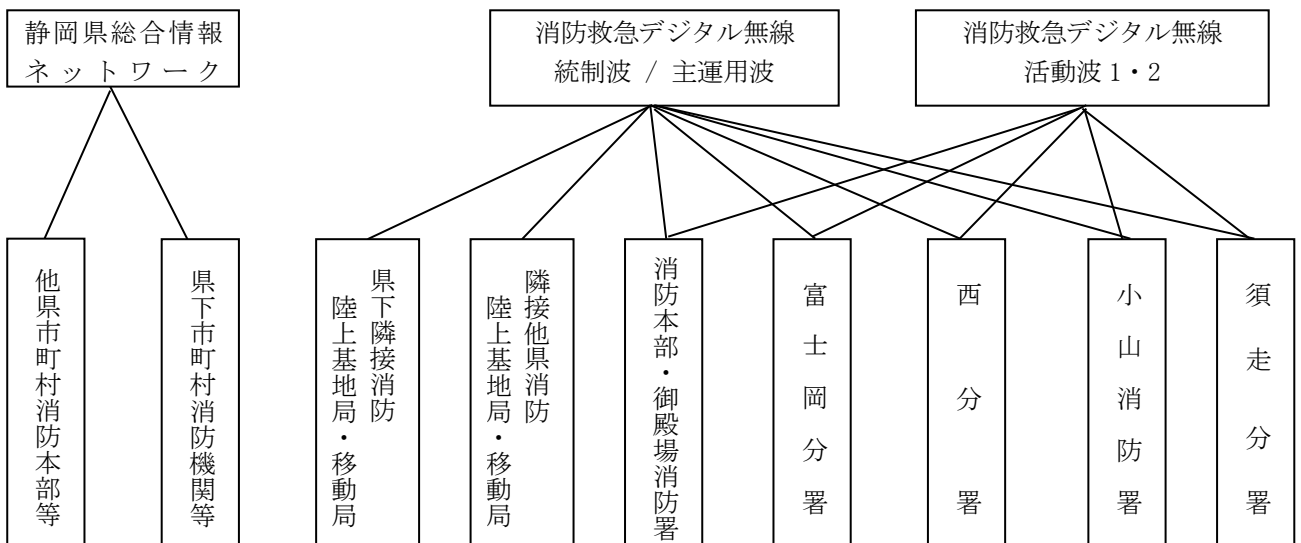
(通信指令室)



# 通信系統図



# 無線系統図





デジタル無線陸上移動局・携帯局

令和3年4月1日現在

区分 配置	名 称	活	活	主	統	統	統	出	区分 配置	名 称	活	活	主	統	統	統	出
		動	動	運	制	制	制				動	動	運	制	制	制	
		波	波	用	波	波	波	力			波	波	用	波	波	波	力
		1	2	波	1	2	3	W			1	2	波	1	2	3	W
消 防 本 部 ・ 御 殿 場 消 防 署	ごてんば 1	○	○	○	○	○	○	10	西 分 署	ごてんば 4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 2	○	○	○	○	○	○	10		〃 54 (卓上)	○	○	○	○	○	○	10
	〃 すいそう1	○	○	○	○	○	○	10		〃 さぎよう4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 かがく1	○	○	○	○	○	○	10		〃 きゆうきゆう4	○	○	○	○	○	○	10
	〃 はしご1	○	○	○	○	○	○	10		〃 401 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 きゆうじよ1	○	○	○	○	○	○	10		〃 402 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 しき 1	○	○	○	○	○	○	10		〃 403 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5
	〃 61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10		小 計	7	7	7	7	7	7	
	〃 さぎよう1	○	○	○	○	○	○	10		署活動用	6						1
	〃 しえん 1	○	○	○	○	○	○	10		小 山 消 防 署	おやま 1	○	○	○	○	○	○
	〃 きゆうきゆう1	○	○	○	○	○	○	10	〃 2		○	○	○	○	○	○	10
	〃 きゆうきゆう2	○	○	○	○	○	○	10	〃 きゆうじよ1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 1	○	○	○	○	○	○	10	〃 しき 1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 2	○	○	○	○	○	○	10	〃 51 (卓上型)		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 3	○	○	○	○	○	○	10	〃 61 (可搬型)		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ 4	○	○	○	○	○	○	10	〃 さぎよう1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 ほんぶ51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10	〃 きゆうきゆう1		○	○	○	○	○	○	10
	〃 101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 101 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5
	〃 102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 102 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5
	〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
	〃 108 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小 計	15	15	15	15	15	15		
	〃 109 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	署活動用	9						1	
	〃 110 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	須 走 分 署	おやま 3	○	○	○	○	○	○	10
	〃 111 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10
	〃 112 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10
	〃 201 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10
〃 202 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 301 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5	
〃 203 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 302 (携帯)		○	○	○	○	○	○	5	
〃 204 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		
〃 205 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小 計	7	7	7	7	7	7			
小 計	34	34	34	34	34	34		署活動用	6						1		
署活動用	25						1	富 士 岡 分 署	ごてんば 3	○	○	○	○	○	○	10	
									〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10	
									〃 さぎよう3	○	○	○	○	○	○	10	
									〃 きゆうきゆう3	○	○	○	○	○	○	10	
									〃 301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
									〃 302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
									〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	
小 計	7	7	7	7	7	7			車 載 型	30	30	30	30	30	30		
署活動用	6						1		卓 上 型	5	5	5	5	5	5		
									可 搬 型	2	2	2	2	2	2		
								携 帯 型	33	33	33	33	33	33			
								合 計	70	70	70	70	70	70			
								署活動用 合 計	52								

# 無線基地局

令和3年4月1日現在

基地局名		ごてんばしょうぼう	おやましょうぼう	ごてんばしょうぼう たろうがおとんねる	ごてんばしょうぼう しんつぶらのとんねる
デジタル 無線	活動波 1	10W			
	活動波 2	10W	10W		
	主運用波	10W			
	統制波	10W		10W	10W

# 陸上移動局（防災相互通信波）

令和3年4月1日現在

名称		防災相互通信波	出力 (W)
ごてんばぼうたい	52 (可搬型)	○	10
〃	53 (可搬型)	○	10
〃	201 (携帯型)	○	5
〃	202 (携帯型)	○	5
〃	203 (携帯型)	○	5
〃	204 (携帯型)	○	5
〃	205 (携帯型)	○	5
〃	207 (携帯型)	○	5
〃	208 (携帯型)	○	5
ふじおかぼうたい	52 (可搬型)	○	10
〃	201 (携帯型)	○	5
〃	202 (携帯型)	○	5
にしぼうたい	52 (可搬型)	○	10
〃	201 (携帯型)	○	5
〃	202 (携帯型)	○	5
おやまぼうたい	52 (可搬型)	○	10
〃	201 (携帯型)	○	5
〃	202 (携帯型)	○	5
すばしりぼうたい	52 (可搬型)	○	10
〃	201 (携帯型)	○	5
〃	202 (携帯型)	○	5

可搬型	6
携帯型	15
合計	21

通信施設・電話

令和3年4月1日現在

区 分		種 別	数	摘 要	
消 防 本 部	管理課	一般加入電話	1	82-4628	
		F A X	1	82-7153	
	予防課	一般加入電話	1	83-0119	
	警防課	一般加入電話	1	83-8151	
	通信指令課	一般加入電話	1	83-8152	
		119	30	御殿場局 5局・玉徳局 4局・神山局 2局・衛星局 1局 小山局 2局・用沢局 2局・須走局 2局・直接受信携帯電話 3局 ソフトバンク 3局・NTTひかり 2局・KDDI 1局 楽天コミュニケーションズ 2局・CTC 1局	
		緊急連絡用電話	1	発信専用(指令台)順次指令	
		専用回線	25	富士岡分署、西分署、小山消防署、須走分署 御殿場市役所、小山町役場、警察署 東名高速道路、東富士五湖道路 東京電力(株)外付け	
			F A X	2	83-8180 (聴覚障害者用・83-8383)
			N E T 1 1 9	1	NET119緊急通報システム (聴覚・言語機能障害者用)
			災害・一般案内	1	84-5000
	消 防 署	御殿場消防署	一般加入電話	3	82-7150・82-7151・82-7152
F A X			1	82-7154	
富士岡分署		一般加入電話	1	87-0119	
		F A X	1	87-2286	
西分署		一般加入電話	1	88-0119	
		F A X	1	88-0750	
小山消防署		一般加入電話	1	76-0119	
		F A X	1	76-5435	
		緊急連絡用電話	1	非公開	
須走分署		一般加入電話	1	75-2001	
		F A X	1	75-3385	

火災報知専用電話・携帯電話別 119番受付回数

令和2年

種別 月	合 計		小 計		火 災		救 急		救 助		通 報 訓 練		病 院 案 内		い ち ぢ ぢ ぢ		警 戒		そ の 他		試 験	
	合 計	火災報知専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	
合 計	5,253	3,242	2,011	38	28	2,515	1,647	9	17	201	19	9	26	30	151	12	6	71	101	357	16	
1月	534	333	201	1	5	271	169	4	2	9	1	1	2	1	19	1			3	45		
2月	440	290	150		4	236	127		1	9	2	1	3	2	7	1	1		5	41		
3月	448	283	165	2	1	208	131		1	19	4		1	5	15	2		2	11	45	1	
4月	388	236	152	2	3	179	121		1	8	1		2	4	11	2		1	8	40	5	
5月	405	266	139	1	1	189	110	1		6		1	5	1	6			12	17	55		
6月	358	221	137	7		162	123			12				2	8	2	3	6	3	30		
7月	446	282	164	4	4	198	134		1	22			1	3	13	1		33	10	21	1	
8月	481	252	229	7	3	210	187	1	6	12		1	4	2	18	1	1	1	10	17		
9月	404	222	182	3	2	181	148		1	20	4	1	4	4	9			3	14	10		
10月	459	291	168	4	1	229	136	1	3	28	3	2	2	1	17	1	1	5	3	20	2	
11月	424	257	167	2	3	192	133	1		41	4		1	3	10	1		2	9	15	7	
12月	466	309	157	5	1	260	128	1	1	15		2	1	2	18			6	8	18		

## 6 火災統計

令和2年の火災件数は、29件（御殿場市19件、小山町9件、東名高速道路1件）で前年に比べ4件減少し、このうち建物火災が15件で火災全体の52%を占めました。

火災損害額は、約34,345千円で前年より約54,042千円減少しました。



(建物火災)



(火災原因調査)

## 火災概要

区 分		令和2年	令和元年	増 減	
火災件数	建 物 火 災	15	11	4	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	5	13	△ 8	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	9	9	0	
	計	29	33	△ 4	
損害額 (千円)	建 物 火 災	30,872	81,504	△ 50,632	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	3,349	6,800	△ 3,451	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	124	83	41	
	計	34,345	88,387	△ 54,042	
焼 損 面積等	出火建物 (㎡)	床面積	282	447	△ 165
		表面積	9	1	8
	林 野・その他 (a)	56	66	△ 10	
	車 両 (台)	5	16	△ 11	
焼損棟数	全 焼	1	4	△ 3	
	半 焼	2		2	
	部 分 焼	4	2	2	
	ぼ や	8	5	3	
	計	15	11	4	
り災世帯	全 損	1	1	0	
	半 損	2		2	
	小 損	7	4	3	
	計	10	5	5	
り 災 人 員		24	10	14	
死 傷 者 (人)	死 者			0	
	負 傷 者	3	11	△ 8	
月 平 均	火 災 件 数 (件)	3	3	0	
	損 害 額 (千 円)	2,862	7,366	△ 4,504	
全火災1件当りの損害額 (千円)		1,184	2,678	△ 1,494	

\*面積にあつては小数点以下四捨五入

## 過去 10 年間の火災発生状況の推移

区分 年	火災	損害額(千円)	焼 損 延 面 積 等			焼損棟数	り災世帯	死者	負傷者
			建物(㎡)	林野(a)	車両(台)				
令和2年	29	34,345	282	-	5	15	10	-	3
令和元年	33	88,387	447	-	16	11	5	-	11
平成30年	26	4,911	51	55	4	12	7	-	3
平成29年	46	23,665	381	92	13	24	15	3	1
平成28年	23	13,879	410	5	6	14	6	1	2
平成27年	36	48,590	485	73	8	16	7	1	2
平成26年	29	52,725	434	20	5	20	6	-	2
平成25年	39	58,473	258	5,082	16	12	7	-	11
平成24年	38	51,558	459	39	8	26	11	3	7
平成23年	55	117,518	721	341	21	31	17	3	8

# 市町等別火災発生状況

令和2年

市町別	種別	件数	損害額 (千円)	焼失面積等				焼損棟数 (棟)	り災		死傷数	
				出火建物(m <sup>2</sup> )		林野・ その他 (a)	車両 (台)		世帯 (世帯)	人員 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
				床面積	表面積							
合計	建物	15	30,872	282	9		2	15	10	24		3
	林野											
	車両	5	3,349				5					
	その他	9	124			56						
	合計	29	34,345	282	9	56	7	15	10	24	0	3
御殿場市	建物	10	6,424	210	1		1	10	9	22		2
	林野											
	車両	3	2,469				3					
	その他	6	1			35						
	小計	19	8,894	210	1	35	4	10	9	22	0	2
小山町	建物	5	24,448	72	8		1	5	1	2		1
	林野											
	車両	1	630				1					
	その他	3	123			21						
	小計	9	25,201	72	8	21	2	5	1	2	0	1
東名高速道路	建物											
	林野											
	車両	1	250				1					
	その他											
	小計	1	250	0	0	0	1	0	0	0	0	0

# 地区別火災発生状況

令和2年

御殿場市			小山町			東名高速道路		
地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)
合計	19	8,894	合計	9	25,201	合計	1	250
御殿場	5	8,172	小山	2	32	御殿場市内上り線		
富士岡	5	508	足柄			御殿場市内下り線	1	250
原里	4	8	北郷	5	20,494	小山町内上り線		
玉穂	4	5	須走	2	4,675	小山町内下り線		
印野								
高根	1	201						

# 月別火災発生件数

令和2年

区分 月別	火災種別(件)					(構成比率%)	損害額(千円)					焼失面積等		
	建物	林野	車両	その他	計		建物	林野	車両	その他	計	出火建物(m <sup>2</sup> )	林野・その他(a)	車両(台)
合計	15	0	5	9	29	100.00	30,872	0	3,349	124	34,345	床 282	56	7
1月	3				3	10.34	5,688				5,688	床 198		1
2月	1			3	4	13.79	8			8	8	床 56		
3月			1	1	2	6.90			2,213	123	2,336	床		1
4月	1		1	1	3	10.34	251		130		381	床 12		1
5月	1		2		3	10.34	30		756		786	床		2
6月				1	1	3.45			1	1	1	床		
7月	4				4	13.79	19,658				19,658	床 53		1
8月	2		1		3	10.34	312		250		562	床 19		1
9月					0	0.00				0	0	床		
10月	1			2	3	10.34	442				442	床		
11月	1			1	2	6.90				0	0	床		
12月	1				1	3.45	4,483				4,483	床		

# 時間別火災発生件数

令和2年

時間 種別	合計	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	不明
		2時未満	4時未満	6時未満	8時未満	10時未満	12時未満	14時未満	16時未満	18時未満	20時未満	22時未満	24時未満	
建物	15	1			1	2	2	2	2	1	2		1	1
林野	0													
車両	5				1		1		1	1			1	
その他	9				1		3	3	1		1			
計	29	1	0	0	3	2	6	5	4	2	3	0	2	1

# 覚知別火災発生件数

令和2年

市町別 種別	御 殿 場 市								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後開知	その他
建物	10		1	7				2	
林野	0								
車両	3		1	1			1		
その他	6			4				1	1
計	19	1	1	12	0	0	1	3	1

市町別 種別	小 山 町								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後開知	その他
建物	5		1	4					
林野	0								
車両	1			1					
その他	3			2				1	
計	9	0	1	7	0	0	0	1	0

市町別 種別	東 名 高 速 道 路			
	小 計	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (携帯)	その他
建物	0			
林野	0			
車両	1			1
その他	0			
計	1	0	0	1

# 原因別火災発生件数

令和2年

出火原因	区分	件 数				計	損 害 額 (千円)					焼失面積等		
		建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	出火建物 (㎡)	林野・ その他 (a)	車両 (台)
合計		15	0	5	9	29	30,872	0	3,349	124	34,345	床 表 282.0 9.0	56	7
こんろ		5				5	5,471				5,471	床 表 198.0 1.0		1
焼却炉		1			1	2	251				251	床 表 12.0		
内燃機関					1	1				1	1	床 表		
排気管				1		1			250		250	床 表		1
電気機器		1				1	442				442	床 表		
電気装置		1				1	192				192	床 表		1
電灯・電話等の配線		2				2	83				83	床 表		
取灰		1				1	19,429				19,429	床 表 53.0		
たき火					3	3					0	床 表	56	
溶接機・切断機		1				1	8				8	床 表		
炉		1				1	4,483				4,483	床 表 7.0		
放火・放火の疑い		1			1	2	201				201	床 表 1.0		
その他				3		3			886		886	床 表		3
不明		1		1	3	5	312		2,213	123	2,648	床 表 19.0		1



## 7 救急・救助統計

令和2年の救急出動件数は4,243件で、昨年より681件下回り、搬送人員は3,972人で、昨年より665人減少しました。

東名高速道路への救急出動は105件で、昨年より30件減少しました。

なお、新東名高速道路は105件中、6件の救急出動がありました。

救助出動は44件で31人を救出し、昨年より出動件数は18件減少し、救出人員は22人減少しました。



(御殿場消防署 救急車)



(小山消防署 救助工作車)



# 月別・事故種別救急活動状況

令和2年

事故種別 覚知月		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
1	出動件数	2		1	28	4	2	57	4	3	255	90			4	450
	搬送件数	2			25	4	2	54	2	2	238	90				419
	搬送人員	2			30	4	2	54	2	2	238	90				424
2	出動件数			1	24	3	4	48	1	5	189	83			1	359
	搬送件数			1	24	3	4	45	1	5	170	83				336
	搬送人員			1	31	3	4	45	1	5	170	83				343
3	出動件数				24	5	2	53		4	190	69			1	348
	搬送件数				23	5	2	52		2	172	69			1	326
	搬送人員				28	5	2	52		2	172	69			1	331
4	出動件数				29	3		47	1	2	162	56				300
	搬送件数				28	3		40	1	2	144	56				274
	搬送人員				30	3		40	1	2	144	56				276
5	出動件数				21	4		33		6	171	63			1	299
	搬送件数				18	4		31		6	154	62				275
	搬送人員				24	4		32		6	154	62				282
6	出動件数				22	6	2	45		8	164	52				299
	搬送件数				21	6	2	42		7	150	52				280
	搬送人員				23	6	2	42		7	150	52				282
7	出動件数	1			28	3	1	58		5	190	65				351
	搬送件数	1			25	3	1	54		4	173	65				326
	搬送人員	1			26	3	1	54		4	173	65				327
8	出動件数			1	35	4	2	46		7	236	65			1	397
	搬送件数				33	4	2	43		4	215	65				366
	搬送人員				40	4	2	43		4	215	65				373
9	出動件数				25	5	3	53	1	8	187	53			2	337
	搬送件数				22	5	3	50		7	170	53				310
	搬送人員				24	5	3	50		7	170	53				312
10	出動件数				38	12	1	48	1	2	208	60			1	371
	搬送件数				35	11	1	43	1	2	185	60			1	339
	搬送人員				39	13	1	43	1	2	185	60			1	345
11	出動件数				37	7	2	44		2	193	55			1	341
	搬送件数				35	7	2	37		1	177	55				314
	搬送人員				39	7	2	37		1	177	55				318
12	出動件数				21	4	1	62	1	3	205	94				391
	搬送件数				19	4	1	58	1	1	181	94				359
	搬送人員				19	4	1	58	1	1	181	94				359
合計	出動件数	3	0	3	332	60	20	594	9	55	2,350	805	0	0	12	4,243
	搬送件数	3	0	1	308	59	20	549	6	43	2,129	804	0	0	2	3,924
	搬送人員	3	0	1	353	61	20	550	6	43	2,129	804	0	0	2	3,972

## 地区別・事故種別出動件数及び搬送人員

令和2年

事故種別 出動地区	事故種別															合計
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他		
御殿場	出動件数	1		1	78	8	1	217	2	21	803	540			6	1,678
	搬送人員	1			81	8	1	198	1	16	711	540			1	1,558
高根	出動件数	1			21	1		33		3	119					178
	搬送人員	1			21	1		30		1	114					168
原里	出動件数			1	51	14	1	66	1	9	355	115			1	614
	搬送人員				53	15	1	61	1	7	325	114			1	578
玉穂	出動件数				24	3	5	46		3	185	54				320
	搬送人員				25	3	5	43		3	161	54				294
印野	出動件数				2		1	10			28					41
	搬送人員				3		1	9			26					39
富士岡	出動件数			1	43	9	6	99	3	6	366	39			1	573
	搬送人員			1	48	9	6	92	1	5	332	39				533
小計	出動件数	2	0	3	219	35	14	471	6	42	1,856	748	0	0	8	3,404
	搬送人員	2	0	1	231	36	14	433	3	32	1,669	747	0	0	2	3,170
小山	出動件数	1			9	9		43	1	1	177	3			2	246
	搬送人員	1			9	9		40	1	1	164	3				228
足柄	出動件数				10	1	2	18		3	80					114
	搬送人員				9	1	2	18		2	76					108
北郷	出動件数				27	10	4	34	2	4	114	51			1	247
	搬送人員				28	10	4	33	2	3	108	51				239
須走	出動件数				5	2		22		4	88	3				124
	搬送人員				5	2		20		4	81	3				115
小計	出動件数	1	0	0	51	22	6	117	3	12	459	57	0	0	3	731
	搬送人員	1	0	0	51	22	6	111	3	10	429	57	0	0	0	690
東名上り	出動件数				45			3			22				1	71
	搬送人員				52			3			20					75
東名下り	出動件数				8	2		3			11					24
	搬送人員				9	2		3			9					23
御殿場IC	出動件数				2						2					4
	搬送人員				4						2					6
新東名	出動件数				5	1										6
	搬送人員				4	1										5
小計	出動件数	0	0	0	60	3	0	6	0	0	35	0	0	0	1	105
	搬送人員	0	0	0	69	3	0	6	0	0	31	0	0	0	0	109
その他	出動件数				2					1						3
	搬送人員				2					1						3
合計	出動件数	3	0	3	332	60	20	594	9	55	2,350	805	0	0	12	4,243
	搬送人員	3	0	1	353	61	20	550	6	43	2,129	804	0	0	2	3,972

## 地区別・傷病程度別・性別搬送人員

令和2年

傷病程度 性別 出動地区	傷病程度					合計	男性	女性
	死亡	重症	中等症	軽症	その他			
御殿場	27	174	901	456		1,558	859	699
高根	8	20	80	60		168	73	95
原里	8	65	305	200		578	323	255
玉穂	4	33	147	110		294	182	112
印野		3	22	14		39	21	18
富士岡	19	61	252	201		533	315	218
小計	66	356	1,707	1,041	0	3,170	1,773	1,397
小山	9	28	113	78		228	128	100
足柄	6	14	51	37		108	66	42
北郷	5	29	129	76		239	150	89
須走	1	17	53	44		115	67	48
小計	21	88	346	235	0	690	411	279
東名上り	1	4	26	44		75	54	21
東名下り		1	9	13		23	14	9
御殿場IC		1	1	4		6	4	2
新東名上り								
新東名下り		1	2	2		5	5	
小計	1	7	38	63	0	109	77	32
その他		1	1	1		3	1	2
合計	88	452	2,092	1,340	0	3,972	2,262	1,710

## 署別・月別出動件数及び搬送人員

令和2年

出動署		覚知月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
御殿場消防署	出動件数	196	164	152	106	133	128	141	164	153	148	135	161	1,781
	搬送人員	188	151	140	94	122	118	133	150	141	139	125	146	1,647
富士岡分署	出動件数	68	57	60	56	45	45	57	60	35	54	46	52	635
	搬送人員	65	56	59	52	43	43	52	57	30	50	37	47	591
西分署	出動件数	91	81	71	78	71	70	81	84	68	91	68	74	928
	搬送人員	84	76	68	73	68	67	75	79	63	83	65	68	869
小山消防署	出動件数	74	43	50	43	35	39	50	63	63	58	49	61	628
	搬送人員	68	46	48	40	35	38	47	63	61	54	50	55	605
須走分署	出動件数	21	14	15	17	15	17	22	26	18	20	43	43	271
	搬送人員	19	14	16	17	14	16	20	24	17	19	41	43	260
消防本部	出動件数													0
	搬送人員													0
合計	出動件数	450	359	348	300	299	299	351	397	337	371	341	391	4,243
	搬送人員	424	343	331	276	282	282	327	373	312	345	318	359	3,972

## 署別・曜日別出動件数及び搬送人員

令和2年

出動署		覚知曜日							合計
		月	火	水	木	金	土	日	
御殿場消防署	出動件数	297	250	233	245	235	258	263	1,781
	搬送人員	271	223	219	227	220	243	244	1,647
富士岡分署	出動件数	91	89	92	97	99	77	90	635
	搬送人員	84	83	83	95	95	68	83	591
西分署	出動件数	146	126	141	147	140	113	115	928
	搬送人員	140	114	135	132	139	105	104	869
小山消防署	出動件数	94	70	85	101	96	87	95	628
	搬送人員	94	67	78	98	93	83	92	605
須走分署	出動件数	47	39	40	37	38	31	39	271
	搬送人員	44	38	37	36	37	28	40	260
消防本部	出動件数								0
	搬送人員								0
合計	出動件数	675	574	591	627	608	566	602	4,243
	搬送人員	633	525	552	588	584	527	563	3,972

## 曜日別・事故種別救急活動状況

令和2年

曜日		事故種別														合計
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	
月	出動件数				60	12	2	98		14	357	131			1	675
	搬送件数				56	12	2	92		11	320	131				624
	搬送人員				65	12	2	92		11	320	131				633
火	出動件数			1	32	6	2	75	1	6	318	131			2	574
	搬送件数				28	6	2	68		5	282	131				522
	搬送人員				31	6	2	68		5	282	131				525
水	出動件数	1			47	10		73	1	6	337	115			1	591
	搬送件数	1			44	10		68	1	3	305	115				547
	搬送人員	1			49	10		68	1	3	305	115				552
木	出動件数			2	48	8	2	106	3	7	328	122			1	627
	搬送件数			1	46	8	2	100	2	6	295	122				582
	搬送人員			1	52	8	2	100	2	6	295	122				588
金	出動件数	1			61	17	2	76		7	332	111			1	608
	搬送件数	1			58	16	2	70		5	312	111				575
	搬送人員	1			65	18	2	70		5	312	111				584
土	出動件数	1			33	4	5	86	2	10	325	97			3	566
	搬送件数	1			30	4	5	77	1	8	297	97			1	521
	搬送人員	1			35	4	5	78	1	8	297	97			1	527
日	出動件数				51	3	7	80	2	5	353	98			3	602
	搬送件数				46	3	7	74	2	5	318	97			1	553
	搬送人員				56	3	7	74	2	5	318	97			1	563
合計	出動件数	3	0	3	332	60	20	594	9	55	2,350	805	0	0	12	4,243
	搬送件数	3	0	1	308	59	20	549	6	43	2,129	804	0	0	2	3,924
	搬送人員	3	0	1	353	61	20	550	6	43	2,129	804	0	0	2	3,972

## 時間別・事故種別出動件数

令和2年

覚知時間	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
0 ~ 1					6			8		2	51	19				86
1 ~ 2					3	1		8	1	1	39	14			2	69
2 ~ 3					5			12		2	41	9				69
3 ~ 4					4			4		3	53	12			1	77
4 ~ 5					1			8	1	1	50	13				74
5 ~ 6					5			6		1	63	9				84
6 ~ 7					10	2		16		3	85	13				129
7 ~ 8					14	1		23			124	7				169
8 ~ 9					31			34	1	6	162	27				261
9 ~ 10		1			17	7	3	38		3	153	65				287
10 ~ 11					21	5	2	43	1	1	141	61				275
11 ~ 12					25	6	4	41		4	130	60				270
12 ~ 13					19	5	2	31		1	116	67			1	242
13 ~ 14				1	8	9	4	39			122	48				231
14 ~ 15					25	9	4	46	1	3	126	46			2	262
15 ~ 16					18	7		45	1	4	102	44				221
16 ~ 17					15	2		29	1	3	111	53				214
17 ~ 18				1	31	1	1	43	1	4	119	44				245
18 ~ 19					20	2		31		5	113	43				214
19 ~ 20		1		1	13	1		23		2	111	39			1	192
20 ~ 21					16	1		24		1	108	30			1	181
21 ~ 22		1			9			26	1		77	34			1	149
22 ~ 23					11	1		9		3	71	27			1	123
23 ~ 24					5			7		2	82	21			2	119
合計		3	0	3	332	60	20	594	9	55	2,350	805	0	0	12	4,243

## 年齢別・性別・事故種別搬送人員

令和2年

年齢性別	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0~4	男性				3			29			32	20	84
	女性				4			9			31	6	50
	計	0	0	0	7	0	0	38	0	0	63	26	134
5~9	男性				6			8			11	7	32
	女性				3			1			7	3	14
	計	0	0	0	9	0	0	9	0	0	18	10	46
10~19	男性				16		10	10			21	13	70
	女性				12		3	5		3	23	6	52
	計	0	0	0	28	0	13	15	0	3	44	19	122
20~29	男性				36	11	3	6		1	60	19	136
	女性				28			9		14	67	20	138
	計	0	0	0	64	11	3	15	0	15	127	39	274
30~39	男性				28	9	2	12	1	5	47	25	129
	女性	1			17			9		5	46	22	100
	計	1	0	0	45	9	2	21	1	10	93	47	229
40~49	男性				51	13	1	22	1	2	88	32	210
	女性				19	2		5		2	70	21	119
	計	0	0	0	70	15	1	27	1	4	158	53	329
50~59	男性	1			27	11	1	25	1	4	131	45	246
	女性				17	3		14		2	61	27	124
	計	1	0	0	44	14	1	39	1	6	192	72	370
60~69	男性				24	5		29	1		183	73	315
	女性				12	1		13			75	21	122
	計	0	0	0	36	6	0	42	1	0	258	94	437
70~79	男性				18	4		63		1	270	97	453
	女性	1			16	2		45	1		174	64	303
	計	1	0	0	34	6	0	108	1	1	444	161	756
80以上	男性				10			84	1		347	145	587
	女性			1	6			152		4	385	140	688
	計	0	0	1	16	0	0	236	1	4	732	285	1,275
年齢不明	男性												
	女性												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	1	0	0	219	53	17	288	5	13	1,190	476	2,262
	女性	2	0	1	134	8	3	262	1	30	939	330	1,710
	計	3	0	1	353	61	20	550	6	43	2,129	806	3,972

# 傷病程度別・性別・事故種別搬送人員

令和2年

事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	男性				1	2		2		3	43		51
	女性			1	1			1		3	31		37
	計	0	0	1	2	2	0	3	0	6	74	0	88
重症	男性	1			18	8		9		6	146	97	285
	女性	1			1	1		10		1	101	52	167
	計	2	0	0	19	9	0	19	0	7	247	149	452
中等症	男性				73	27	7	117	1	1	610	349	1,185
	女性	1			29	3	2	138		14	468	252	907
	計	1	0	0	102	30	9	255	1	15	1,078	601	2,092
軽症	男性				127	16	10	160	4	3	391	30	741
	女性				103	4	1	113	1	12	339	26	599
	計	0	0	0	230	20	11	273	5	15	730	56	1,340
その他	男性												0
	女性												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	1	0	0	219	53	17	288	5	13	1,190	476	2,262
	女性	2	0	1	134	8	3	262	1	30	939	330	1,710
	計	3	0	1	353	61	20	550	6	43	2,129	806	3,972

# 救急出動10年間の推移

令和2年

区分		H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
出動件数		4,204	4,156	4,162	4,322	4,330	4,499	4,626	4,874	4,924	4,243
事故種別	火災	8	10	8	4	5	3	3	3	10	3
	自然災害	6	3		1			2	2		
	水難事故		2		1	5	1			3	3
事故種別	交通事故	508	462	425	476	386	430	449	441	398	332
	労働災害	45	33	51	48	52	44	46	67	61	60
事故種別	運動競技	18	13	21	26	29	33	33	34	54	20
	一般負傷	549	563	596	598	591	586	588	665	669	594
事故種別	加害	14	22	16	19	12	12	12	9	15	9
	自損行為	60	45	46	45	38	37	38	44	40	55
急病		2,187	2,207	2,226	2,293	2,384	2,511	2,526	2,705	2,721	2,350
その他		809	796	773	811	828	842	929	904	953	817
搬送件数		3,875	3,845	3,912	4,098	4,107	4,222	4,295	4,580	4,549	3,924
搬送人員		3,978	3,935	4,008	4,175	4,192	4,310	4,399	4,646	4,637	3,972
内訳	男性	2,279	2,187	2,297	2,351	2,355	2,447	2,445	2,597	2,537	2,262
	女性	1,699	1,748	1,711	1,824	1,837	1,863	1,954	2,049	2,100	1,710
傷病程度	死亡	122	113	139	113	103	79	68	85	94	88
	重症	337	315	287	323	369	456	426	468	466	452
	中等症	1,578	1,617	1,690	1,736	1,905	2,085	2,195	2,279	2,344	2,092
	軽症	1,940	1,888	1,892	2,003	1,815	1,690	1,709	1,814	1,733	1,340
	その他	1	2					1			

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう。

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他を含む。

## 東名高速道路月別・事故種別出動件数

令和2年

月 事故種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火 災													0
自然災害													0
水難事故													0
交通事故	7	4	3	3	3	4	11	6	7	7	4	1	60
労働災害			1							1	1		3
運動競技													0
一般負傷	2		1	1						1	1		6
加 害													0
自損行為													0
急 病	5	5	3	1		2	2	4	4	5	4		35
そ の 他									1				1
合 計	14	9	8	5	3	6	13	10	12	14	10	1	105

## 東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員

令和2年

事故種別 傷病程度	火 災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1								1
重 症				5	1					1		7
中等症				22	1		1			14		38
軽 症				41	1		5			16		63
その他												0
合 計	0	0	0	69	3	0	6	0	0	31	0	109

## 東名高速道路救急出動 10年間の推移

令和2年

区 分		H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
出 動 件 数		98	110	105	113	111	124	149	124	135	105
事 故 種 別	火 災				1			1			
	自然災害		1								
	水難事故										
	交通事故	43	49	52	61	37	48	56	56	58	60
	労働災害		1	2		1	1				3
	運動競技										
	一般負傷	10	5	11	7	12	12	18	4	9	6
	加 害				1				1	1	
	自損行為	1		1		1	1		2	2	
	急 病	42	54	39	43	60	62	74	61	64	35
そ の 他	2								1	1	
搬 送 件 数		89	97	95	99	96	110	131	109	111	92
搬 送 人 員		101	108	125	116	113	128	170	126	139	109
内 訳	男 性	66	64	75	80	77	81	101	85	78	77
	女 性	35	44	50	36	36	47	69	41	61	32
傷 病 程 度	死 亡	2	2	2	1	3	1	2	1	2	1
	重 症	6	5	4	3	5	4		7	7	7
	中 等 症	19	24	23	26	31	39	62	45	35	38
	軽 症	74	77	96	86	74	84	106	73	95	63
	そ の 他										

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう。

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他を含む。

※上記統計には、新東名高速道路を含む。

## 救助業務実施状況

令和2年

年 区分	R2年									R1年
	件数	御殿場市		小山町		東名高速道路		管轄外		件数
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
出動件数	44	29	65.9%	7	15.9%	8	18.2%	0	0.0%	62
活動件数	27	16	59.3%	5	18.5%	6	22.2%	0	0.0%	48
救助人員	31	17	54.8%	6	19.4%	8	25.8%	0	0.0%	53
出動車両数	173	120	69.4%	19	11.0%	34	19.7%	0	0.0%	192
出動延べ人員	511	337	65.9%	66	12.9%	108	21.1%	0	0.0%	545

※管轄外とは御殿場市、小山町、東名高速道路を除く地域（神奈川県、山梨県、裾野市等）

## 救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数

令和2年

事故種別	曜日									
	合計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日等	
合計	44	6	6	6	7	9	7	3	4	
火災										
交通事故	25	5	5	3	2	4	5	1	1	
水難事故	2			1		1				
自然災害										
機械等による事故	3				2		1		1	
建物等による事故	1							1		
ガス事故・酸欠事故										
破裂事故										
その他	13	1	1	2	3	4	1	1	2	

※祝日等は内数として表示

## 時間別救助出動状況

令和2年

時間	合計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
件数	44	3	1	1	2	7	6	6	4	5	7	1	1

## 8 消 防 団

御殿場市消防団は団員 358 名、内女性本部団員 16 名、消防ポンプ自動車 26 台・林野火災工作車 1 台の近代的な装備と機動力を備えている。また、消防団活性化対策専門部会を設置し、時代に即した消防団を目指して活性化を推進する。

小山町消防団は団員 160 名、内女性本部団員 8 名、消防ポンプ自動車 7 台と火災予防広報車 1 台の体制で地域の防火・防災活動に取り組んでいます。女性団員にあっては、防火広報や一人暮らし高齢者の防火指導及び幼児向けの花火教室、応急手当普及員取得を活かし、講師として救命講習会開催などの活動を展開しています。

今後も、消防団活動の拠点として車庫・詰所の整備並びに車両更新を計画的に推進し、住民には消防団活動の啓蒙を図り、地域に密着した組織としての活性化並びに住民の防火意識高揚に努めていきます。



(小山町消防団 小型ポンプ操法)



## 御殿場市消防団沿革

昭和30年2月11日、御殿場町、富士岡村、原里村、玉穂村及び印野村の1町4村の合併により御殿場市が誕生した。それに伴って消防団も合併し、御殿場市消防団として発足した。旧御殿場町を第1分団、旧富士岡村を第2分団、旧原里村を第3分団、旧玉穂村を第4分団、旧印野村を第5分団とし、団員611名、ポンプ自動車8台、可搬式ポンプ20台、腕用ポンプ29台で活動を開始した。

昭和31年1月1日に高根村が御殿場市と合併し、第6分団となり、団員733名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ27台、腕用ポンプ29台となった。翌年の昭和32年9月1日に北郷村の古沢地区が御殿場市に合併し、消防団も第6分団に編入され、団員746名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ28台、腕用ポンプ29台となった。

昭和40年4月1日、御殿場市消防本部・消防署が設置された。それに伴い消防団は消防団と各地区の火防隊とに再編成された。消防団は団員376名、ポンプ自動車11台、可搬式ポンプ15台の少数精鋭を図った編成替えとなり、その後逐次可搬式ポンプをポンプ自動車に切り替え、ポンプ自動車26台、林野火災工作車1台の計27台の近代的な装備と機動力を備えている。

平成23年4月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環としての女性消防団員登用に伴い、御殿場市消防団員の条例定員を376名から396名に改め、更に、出動費用弁償の内、水火災時の出勤手当を1,500円から2,000円に改める条例の一部改正を行った。

平成25年4月1日、消防団員のサラリーマン化を受け、平日昼間の建物火災への対応として、機能別団員制度を導入し、現在358名(女性団員16名)のうち、24名の機能別団員が在籍している。また、運転免許制度の改定等に伴い、平成25年度納車のポンプ自動車よりオートマチック車の導入を開始した。

平成28年度4月1日、地域力の向上と御殿場市消防団員の継続的な確保を目的として、御殿場市に存在する事業所等が消防団員等に対する支援等を行う御殿場市消防団サポート事業制度を制定し、消防団の活性化を図る。

平成31年4月1日、大災害対応をはじめ、地域防災力の要として、消防団の役割と重要性が改めて注目される中で、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたこと、また、団員確保のための方策として、団員報酬額を国で目安とする団員報酬額の水準まで引き上げた。

令和2年4月1日、道路交通法改正に伴い消防ポンプ自動車が運転可能な準中型免許取得及びAT限定解除に関する補助制度として、「御殿場市消防団員自動車運転免許取得補助金交付要綱」を制定し、消防ポンプ自動車を運転可能な機関員の確保に努め、消防力の向上を図る。

## 小山町消防団沿革

昭和23年11月1日、小山町消防団は第1分団と第2分団で発足した。管轄区域は第1分団が生土、音漕、落合、藤曲、中島、柳島及び湯船。第2分団は、菅沼、茅沼、南藤曲、大脇及び上合を担当した。当時の団員は団長以下95名、ポンプ自動車2台で活動した。

昭和28年1月16日に新しく第3分団を設置し、管轄区域を藤曲、南藤曲、中島、柳島及び湯船とした。

昭和30年4月1日に足柄村と合併し、旧足柄村を第4分団とし、分団長以下50名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ1台で活動を開始した。

昭和31年8月1日に北郷村と合併し、旧北郷村を第5分団、第6分団とし、分団長以下25名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ4台で活動を開始した。同年9月30日、須走村と合併し旧須走村を第7分団とし、分団長以下40名の団員と手引動力ポンプ1台、腕用ポンプ2台で活動を開始した。

平成22年5月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環として女性消防団員が発足し団本部に籍を置き活動を開始した。

平成23年3月には団本部に火災予防広報車を配備した。

平成6年以降6つの分団詰所を新設した。

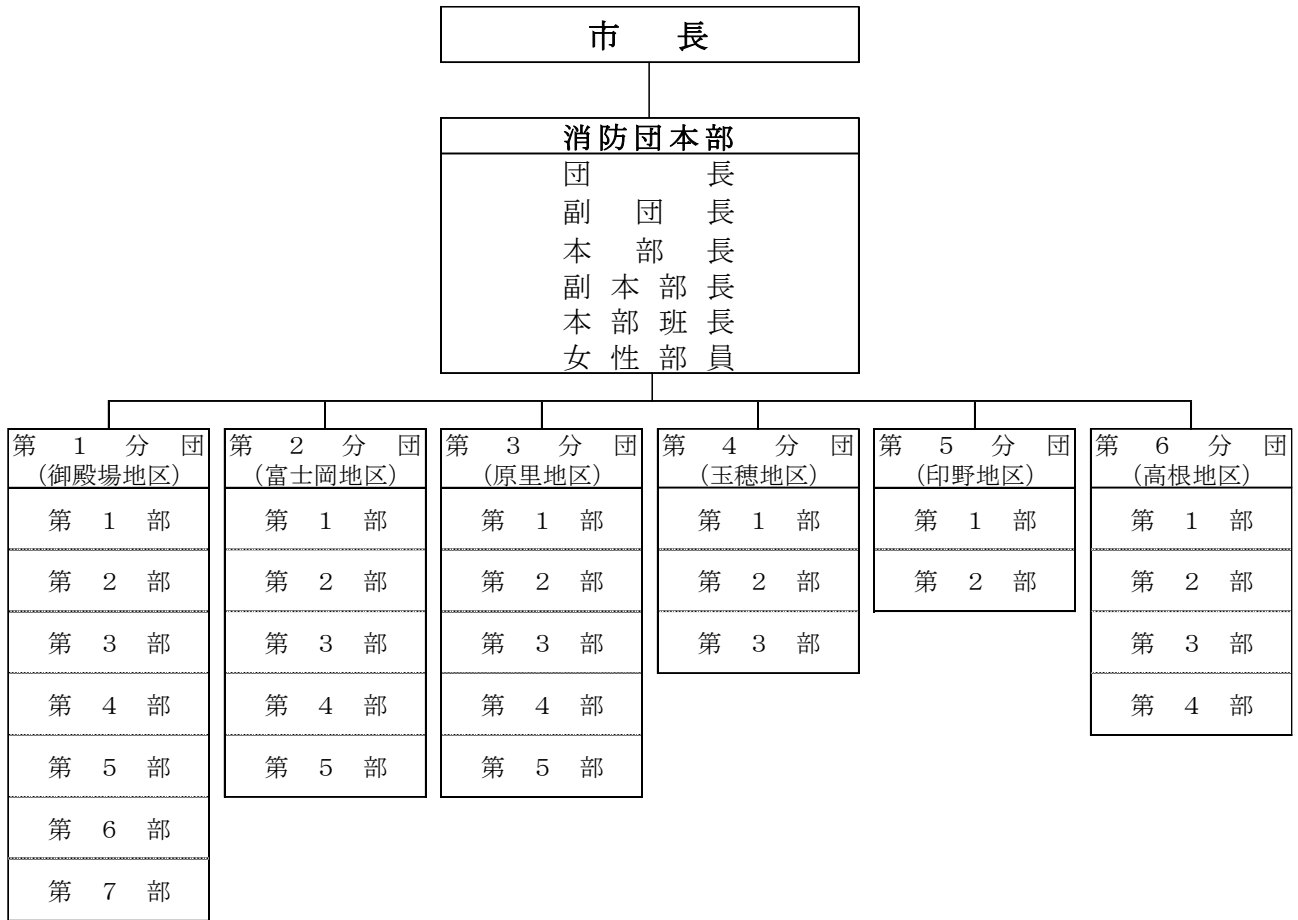
令和2年4月1日、南海トラフ地震や、神奈川西部沖地震などの大規模地震および富士山噴火等の大規模災害が懸念されるなか、消防団員OBを活用した機能別団員制度を導入した。

消防ポンプ自動車については、運転免許制度の改定等に伴い、平成16年度以降シャシをCD-IIから小型化するため全ての車両を車種替えし、平成30年度よりCD-Iのオートマチック車の導入を開始した。

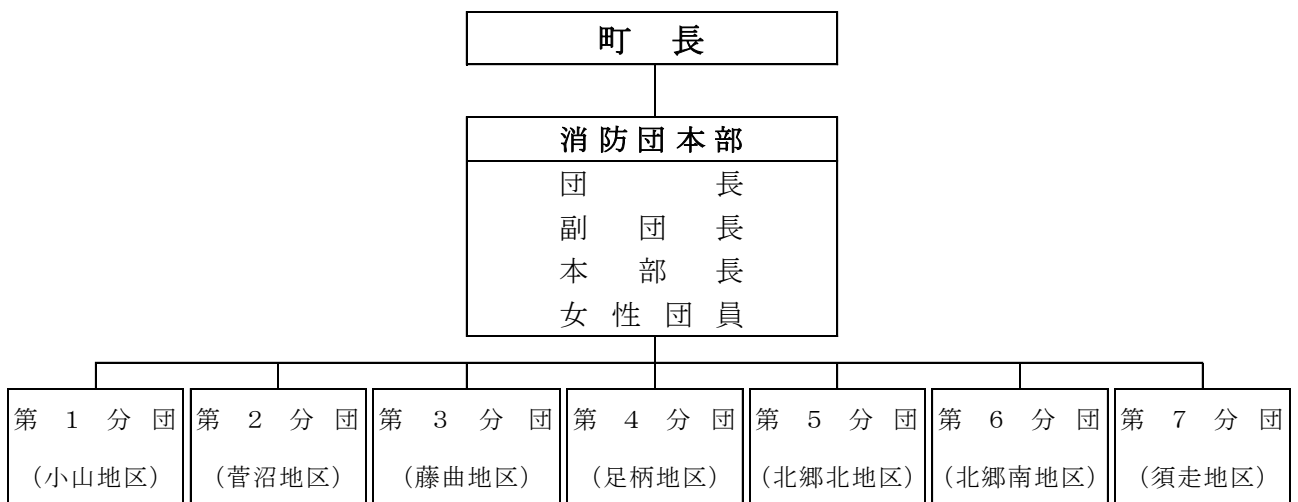
団員条例定数188名（令和3年4月1日現在171名）、ポンプ自動車7台、火災予防広報車1台で防火及び水防体制に万全を期している。

# 消防団機構図

## 御殿場市



## 小山町



# 令和3年度非常備消防費当初歳出予算

(単位：千円)

目	節	御 殿 場 市			小 山 町		
		令和3年度	令和2年度	比 較	令和3年度	令和2年度	比 較
非常備 消防費		78,336	95,504	△ 17,168	43,609	142,345	△ 98,736
	報 酬	15,798	15,848	△ 50	8,020	8,047	△ 27
	職 員 手 当 等	861	872	△ 11	593	610	△ 17
	共 済 費	8,969	8,954	15			
	災 害 補 償 費	240	45	195	100	100	0
	恩 給 及 び 退 職 年 金			0	2,568	2,542	26
	賃 金			0			0
	報 償 費	8,581	14,782	△ 6,201	2,010	2,610	△ 600
	旅 費	8,360	8,244	116	13,751	13,158	593
	交 際 費	25	25	0	100	100	0
	需 用 費	11,581	20,620	△ 9,039	6,158	6,290	△ 132
	役 務 費	938	949	△ 11	789	1,137	△ 348
	委 託 料	76	76	0	557	2,097	△ 1,540
	使用料及び賃借料	1,828	1,840	△ 12	414	1,743	△ 1,329
	工 事 請 負 費			0		65,700	△ 65,700
	公 有 財 産 購 入 費			0			0
	原 材 料 費			0			
	備 品 購 入 費	242	229	13	1,502	30,947	△ 29,445
	負担金補助及び交付金	20,221	22,318	△ 2,097	6,932	7,034	△ 102
	公 課 費	616	702	△ 86	115	230	△ 115
消 防 施 設 費		15,626	8,887	6,739	63,566	3,356	60,210
	職 員 手 当 等	15	16	△ 1			0
	旅 費			0			0
	需 用 費	860	1,303	△ 443	945	820	125
	役 務 費			0			0
	委 託 料	179	215	△ 36		2,000	△ 2,000
	使用料及び賃借料			0	4	4	0
	工 事 請 負 費			0			0
	原 材 料 費	607	671	△ 64	617	532	85
	備 品 購 入 費			0			0
	負担金補助及び交付金	13,965	6,682	7,283			0
	償 還 金			0			0
	公 課 費						
	公 有 財 産 購 入 費			0	62,000		62,000

## 消防団員階級別年齢

令和3年4月1日現在

年齢	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長 含む)	副分団長 (副本部長 含む)	部長 (本部班長 含む)	班長	団員 (機能別 団員含む)
合計		529	2	5	20	14	41	86	361
御 殿 場 市	20歳未満	0							
	20歳～24歳	29							29
	25歳～29歳	68					1	2	65
	30歳～34歳	132					7	37	88
	35歳～39歳	63			1		11	20	31
	40歳～44歳	28					10	7	11
	45歳～49歳	20			4	4	4	2	6
	50歳～54歳	10		1	3	3		1	2
	55歳～59歳	7	1	1	1				4
	60歳～64歳	1							1
	65歳以上	0							
	小計	358	1	2	9	7	33	69	237
小 山 町	20歳未満	2							2
	20歳～24歳	10							10
	25歳～29歳	20							20
	30歳～34歳	24							24
	35歳～39歳	33					1	1	31
	40歳～44歳	41				1	1	13	26
	45歳～49歳	21			7	4	5	3	2
	50歳～54歳	9			3	2	1		3
	55歳～59歳	8		3	1				4
	60歳～64歳	2	1						1
	65歳以上	1							1
	小計	171	1	3	11	7	8	17	124

## 消防団員階級別勤続年数

令和3年4月1日現在

市町別	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部長 含む)	副分団長 (副本部長 含む)	部長 (本部班長 含む)	班長	団員 (機能別 団員含む)
合計		529	2	5	20	14	41	86	361
御 殿 場 市	5年未満	151					1	4	146
	5年以上～10年未満	138				2	20	47	69
	10年以上～15年未満	49		1	5	4	11	15	13
	15年以上～20年未満	14			4	1	1		8
	20年以上～25年未満	5	1					3	1
	25年以上～30年未満	1		1					
	30年以上	0							
	小計	358	1	2	9	7	33	69	237
小 山 町	5年未満	44						1	43
	5年以上～10年未満	39						1	38
	10年以上～15年未満	36			1	1	1	6	27
	15年以上～20年未満	25			1	2	2	6	14
	20年以上～25年未満	17			4	3	5	3	2
	25年以上～30年未満	5			4	1			
	30年以上	5	1	3	1				
小計	171	1	3	11	7	8	17	124	

令和3年4月1日現在

### 出動費用弁償

(単位：円)

区 分	支給単位	金 額		備 考
		御 殿 場 市	小 山 町	
水 火 災 の 場 合	1 回	2,000	2,000	
警 戒 の 場 合	1 回	1,500	2,000	1回が1日以上にわたるときは1日単位とする。
訓 練 の 場 合	1 回	1,500	1,500	
技術職務に従事する場合	年 額			主として自動車運転手として年間従事する者に支給する。

令和3年4月1日現在

### 報酬年額

(単位：円)

階級	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	本 部 班 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員
市町別											
御 殿 場 市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500	20,000
小 山 町	82,500	69,000	56,000			50,500	45,500	40,000	37,000	36,500	20,000

### 消防団編成及び装備

令和3年4月1日現在

区 分	階 級											機 械			
	合 計	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	本 部 班 長	班 長	団 員 (機能別消防団員含)	自 動 車 消 防 ポ ンプ	そ の 他 の 車 両	可 搬 式 搬 載 用 プ (C-1)	車 両 計
御 殿 場 市	定 数	396										26	4	27	30
	団 員 数	358	1	2	3	1	6	6	27	6	69	237			
	団 本 部	29	1	2	3	1			1	6	3	12		3	3
	第 1 分 団	96					1	1	7		18	69	7		7
	第 2 分 団	49					1	1	5		10	32	5		5
	第 3 分 団	55					1	1	5		13	35	5		5
	第 4 分 団	39					1	1	3		9	25	3		3
	第 5 分 団	36					1	1	2		6	26	2	1	3
小 山 町	定 数	188										7	1	7	8
	団 員 数	171	1	3	4		7	7	8	2	15	124			
	団 本 部	16	1	3	4				1	2		5		1	1
	第 1 分 団	27					1	1	1		3	21	1		1
	第 2 分 団	23					1	1	1		2	18	1		1
	第 3 分 団	16					1	1	1		2	11	1		1
	第 4 分 団	22					1	1	1		2	17	1		1
	第 5 分 団	20					1	1	1		2	15	1		1
第 6 分 団	21					1	1	1		2	16	1		1	
第 7 分 団	26					1	1	1		2	21	1		1	

# 消防団車両配備

令和3年4月1日現在

市町村	名称	部名	所在地	車名	登録年月	経過年	艀装会社	車種	排気量	ポンプ規格	
御 殿 場 市	御殿場市消防団本部		東田中	トヨタ	H15.6	17	-	ワゴン	2.970	-	
				スバル	H19.2	14	-	ワゴン	1.990	-	
				ダイハツ	H24.5	8	-	軽貨物	0.650	-	
	第1分団	第1部	御殿場	三 菱	H28.1	5	畠山	CD-I	4.560	A-2	
		第2部	深 沢	日 野	H19.2	14	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第3部	新 橋	日 野	H21.2	12	畠山	CD-I	4.560	〃	
		第4部	湯 沢	日 野	H20.2	13	モリタ	CD-I	4.000	〃	
		第5部	二枚橋	日 野	H20.2	13	モリタ	CD-I	4.000	〃	
		第6部	仁 杉	いすゞ	H29.2	4	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第7部	東 山	いすゞ	R2.1	1	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第2分団	第1部	中 山	日 野	H18.2	15	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	竈	いすゞ	H30.2	3	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第3部	大 坂	三 菱	H27.2	6	畠山	CD-I	3.560	〃	
		第4部	駒 門	いすゞ	H31.1	2	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第5部	神 山	いすゞ	H26.3	7	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第3分団	第1部	森之腰	日 野	H23.3	10	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	神 場	日 野	H24.2	9	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第3部	板 妻	日 野	H16.11	16	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第4部	保土沢	日 野	H23.3	10	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第5部	大 沢	日 野	H22.2	11	畠山	CD-I	4.000	〃	
	第4分団	第1部	中 畑	いすゞ	H30.2	3	畠山	CD-I	2.990	〃	
		第2部	茱萸沢	三 菱	H27.12	5	畠山	CD-I	4.560	〃	
		第3部	滝ヶ原	いすゞ	H29.2	4	畠山	CD-I	2.990	〃	
	第5分団	第1部	時之栖	日 野	H21.2	12	畠山	CD-I	4.560	〃	
				いすゞ	H23.2	10	畠山	林野工作	2.990	-	
	第6分団	第2部	印 野	日 野	H18.2	15	畠山	CD-I	4.000	A-2	
		第1部	塚 原	日 野	H19.2	14	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第2部	古 沢	三 菱	H27.2	6	畠山	CD-I	3.560	〃	
		第3部	上小林	日 野	H22.2	11	畠山	CD-I	4.000	〃	
	第6分団	第4部	美乃和	日 野	H17.2	16	畠山	CD-I	4.000	〃	
小山町消防団本部		菅 沼	トヨタ	H23.2	10	-	ワゴン	1.980	-		
		第1分団	小 山	日 野	H29.2	4	畠山	CD-I	4.000	A-2	
		第2分団	菅 沼	日 野	H24.2	9	畠山	CD-I	4.000	〃	
		第3分団	藤 曲	日 野	H23.2	10	畠山	CD-I	4.000	〃	
第4分団	足 柄	いすゞ	R3.2	0	畠山	CD-I	2.990	〃			
第5分団	北郷北	日 野	H19.3	14	畠山	CD-I	4.000	〃			
第6分団	北郷南	いすゞ	H30.12	2	畠山	CD-I	2.990	〃			
第7分団	須 走	日 野	H26.2	7	畠山	CD-I	4.000	〃			

## 令和2年版 消防年報

発行 令和3年6月  
編集 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部  
管理課 消防総務スタッフ  
住所 〒412-0026  
御殿場市東田中一丁目19番1号  
電話 0550-82-4628  
FAX 0550-82-7153  
E-mail

[syoubou-honbu1@gotemba-oyama-kouiki.jp](mailto:syoubou-honbu1@gotemba-oyama-kouiki.jp)

ホームページアドレス

<https://www.gotemaba-oyama-kouiki.jp/pages/204/>

